



オリンピック優勝記念號



水泳

No. 41

● 日本水上競技聯盟機關雜誌・昭和十一年十月 ●





日本水上競技聯盟
機 關 雜 誌

水 泳

昭和十一年第四十一號

オリンピック優勝記念號

目 次

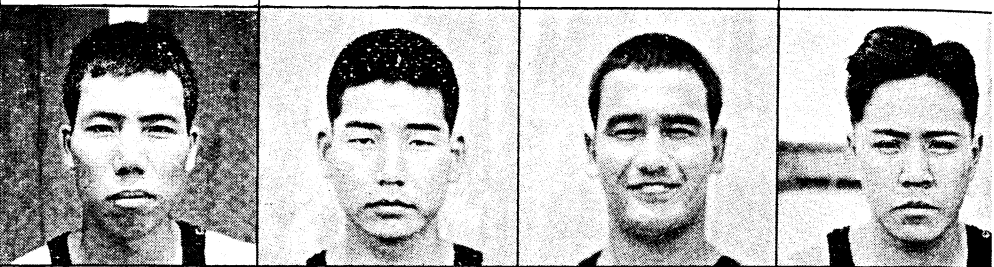
水上軍一覽	(2)
オリンピック競泳	(4)
飛込競技	(16)
水球競技	(18)
戦績に対する感想	(20)
オリンピック最終豫選	(21)
オリンピック第三次豫選東西大會	(27)
三大學對抗競技會	(28)
早慶戦を觀る	松浦武雄 (29)
獨逸人の見た我が水球チームの戦評	(31)



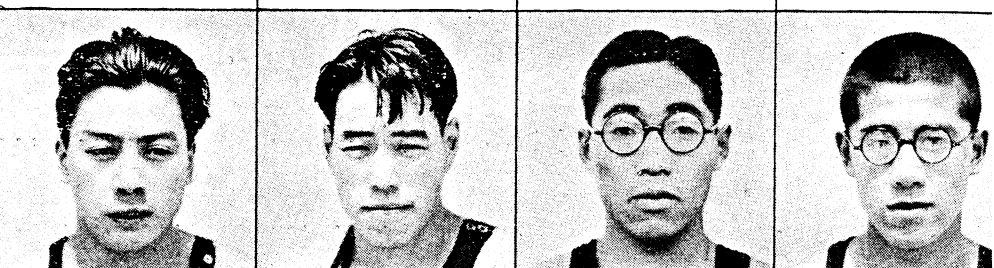
(總監督) 松弘 嚴太郎 (ヘッドコーチ) 松澤 一鶴 (競泳コーチ) 齋藤 巍洋

(監督秘書) 鬼野 良 (會計) 渡邊寛二郎 (監督秘書) 安部輝太郎

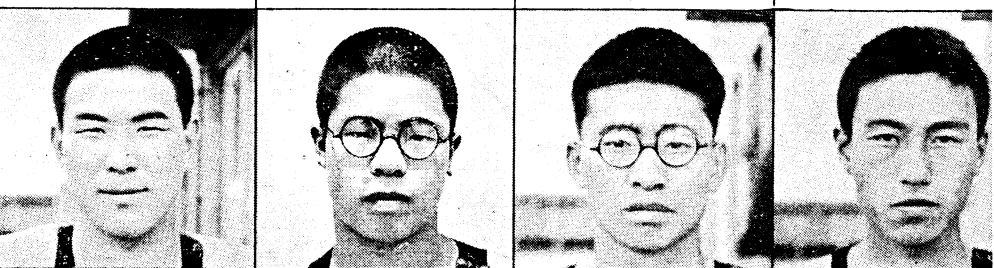
清川正二(競泳主將) 宮崎康二(競泳) 石原田 愿(競泳) 新聞六炳(競泳)



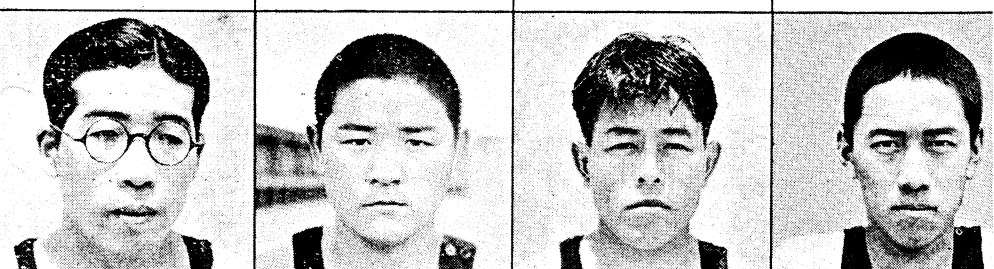
遊佐正憲(競泳) 鶴岡 榮(競泳) 牧野正藏(競泳) 兒島泰彦(競泳)



新井茂雄(競泳) 鶴藤俊平(競泳) 永見達明(競泳) 明文一(競泳)



田口正治(競泳) 寺田 登(競泳) 本田惣一郎(競泳) 吉田喜一(競泳)



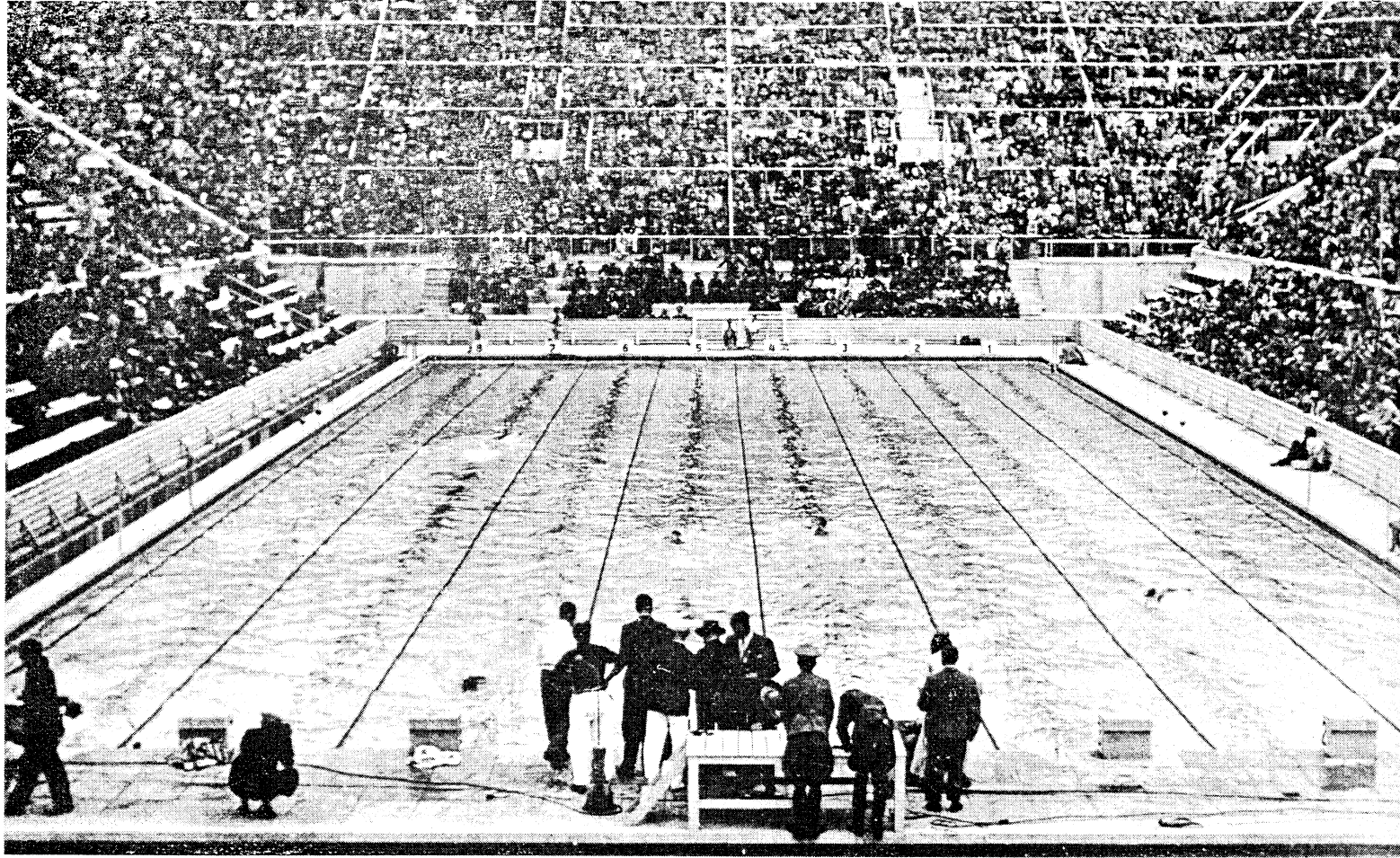
杉浦重雄(競泳) 根上 博(競泳) 田中一男(競泳) 葉室鐵夫(競泳)



出

わが精鋭

小池禮三(競泳)	松本隆重(水泳コーチ)	高木茂雄(水球)	古莊次平(水球)	守岡ハツ子(女子競泳)	壺井宇乃子(女子競泳)
					
伊藤三郎(競泳)	阪上安太郎(水泳主将)	田野耕清(水球)	高橋三郎(水球)	小島カズエ(女子競泳)	大澤政代(女子飛込主将)
					
泉秀夫(飛込コーチ)	高橋善次郎(水球)	和田幸一(水球)	白山廣子(女子競泳シヤベロン)	古田つね子(女子競泳)	大澤禮子(飛込)
					
原恒雄(飛込主将)	勝久重隆(水球)	若山瀧美(水球)	松澤初穂(女子競泳コーチ)	竹村令(女子競泳)	柳田享(トレーナー)
					
柳富男(飛込)	片岡寅次郎(水球)	前田倍三(水球)	前畑秀子(女子競泳主将)	松村昶子(女子競泳)	岡本勤一(醫事)
					



ベルリン・オリンピック
クツ・プールの全景

・第十一回オリンピック大會・水上競技・

〔オリンピック大會第8日〕

愈々世界の目と耳を集めて、水上競技が始まるのだ。朝から天候怪しく雨さえ降つてゐる。開始頃に一時晴れ間を見せたが、女子100米豫選頃からポツポツ降つてきた。まづ100米の自由形で一二等で豫選、準決勝を通過し日の丸三本が期待される。前畑嬢もオリンピック記録で優勝確定となり、小島嬢も100米の自由形豫選に入選した。水球はチェッコとの試合に前半3点を許し、後半日本3点取つたが一点取られ遂に4対1で敗れてしまった。

〔オリンピック大會9日〕

水温22度。今日は愈々男子100米の決勝だまづこの100米で勝たねばあとの士氣に影響する。しかし無念遂にチツクに優勝を奪はれ、日本は二三四を占めるに至つた。女子平泳では前畑嬢が準決勝に一着で進んだが、小島嬢は100に七着で落ちてしまった。水球もフランスに前半5点後半3点を取られ8対0で敗れてしまった。

〔オリンピック大會10日〕

今日は昨日の復讐に燃えて400米、800米リレー豫

選に我が軍力泳又力泳400に於て、我が、鶴藤、牧野、根上の三銃士いづれも一着で豫選をパスする。リレーでも遊佐、杉浦、田口、新井の四選手出場し堂々大會新記録で通過した。

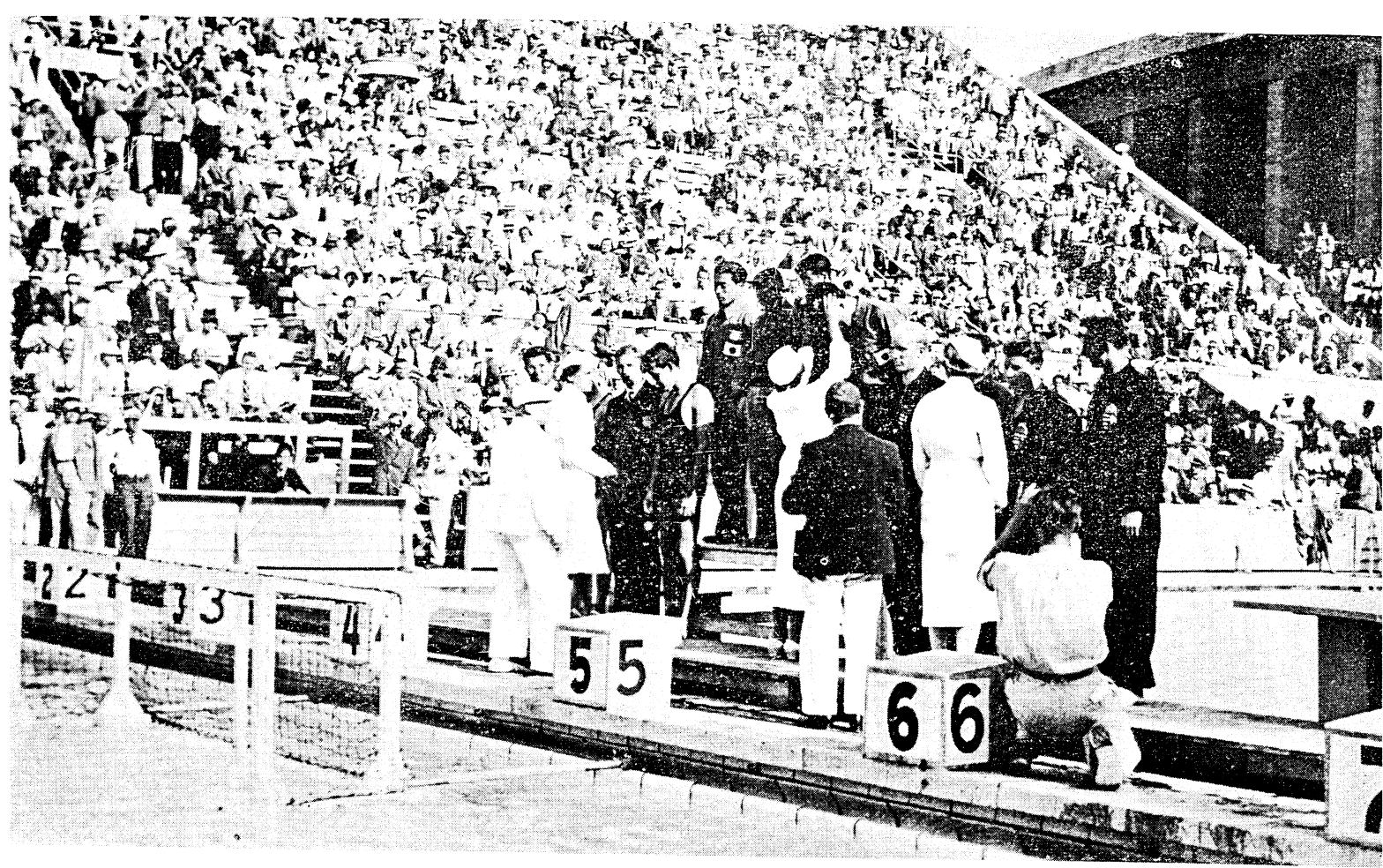
水球は日本對ドイツで、前半片岡が一点入れたのみでドイツにすつかり翻弄されて13對1で惨敗し遂に準決勝に出る資格を失つてしまった。

〔オリンピック大會11日〕

今日は紺碧の夏空。水温21度、気温24度、午前九時から男子飛板飛込から始められた。結果は(1)デゲナー(米)163.57(2)ウェーン(米)159.56(3)グリーン(米)146.29(4)柴原恒雄(日)144.92(5)ワイス(獨)(6)ドレッセル(7)マーラウン(8)小柳富男133.07である。次に800米の繼泳では我が日本斷然強く世界記録を作つて勝つた。また200の平泳で前畑、ゲネンゲルとの一騎打で遂に勝ち、日章旗を擧ぐ。400米の準決勝にも我ら三選手入選し、愈々問題の400米の決勝にのぞむことになった。

〔オリンピック大會12日〕

太陽の光も強く、暑さもひどい。けふの呼物400米



オリンピックプールのスタート側・寫眞は、800リレーの後日本選手が假優勝儀禮式に於て月桂冠を受けるところ

(14)大澤政代(日)28.1

〔オリンピック大會14日〕

14日は早朝から又もや天候は悪く、強い西風の雨だ。憂色濃い雨風の中で午前八時高飛込が開始され小柳・柴原の兩選手堂々たる技を示す。女子 00米で小島決勝に残ることとなつた。午後三時半200の平泳スタートは切られた。いづれも勝残りとなつたが、1500米の準決勝はメデイカの好調に明日が危まれる。しかも100米の背泳決勝では米國に一二等を奪はれ、ロサンゼルスの一二三等を占めたに較べて背泳凋落の憂目に暗膽たるものがある。

〔オリンピック大會15日〕

聖戰第15日の幕は、前日來の雨も名残りなく晴れて氣温19度、大空は一抹の雲影さへとどめず、爽涼絶好のオリンピック日和である。今日こそは日米水上決戦の日である。水温22度、200の平泳は三時半にスタートがきられた。葉室遂に肉迫するナチスの勇士ジータスをしりぞけて遂に勝つてくれた。次に400米でも小島嬢よく6着となり、つづいて天下分け目の決戦1500。4時10分スタートをきる。遂に我が寺田選手、メデイカを25米を離して堂々優勝、遂にこれで再制覇がなつたのだ。

以上日を追つて大會を大ざつぱに記したが次に各種目別に記録をかかげよう。

決勝は日本覇權を守るために重大なレースである。息づまる様なレースが展開された。しかし遂に返り討ちの憂目。最後の25米で鶴藤メデイカに抜かれてしまった。これで愈々形勢は逆轉した。再制覇に暗いかげをさしてしまつた。その上100米の豫選でもキーフア斷然強く優勝は、望みうすくなつてきた。女子も400リレーで落選。女子の飛板飛込の決勝で大澤嬢が六位、香野嬢が八位となつた。

その結果は(1)ゲストリング(米)89.27 (2)ロウルズ(米)88.35(3)ポイントナーヒル(米)82.35(4)グザメルランク(獨)78.27 (5)エンシユーヨルダン(獨)77.93 (6)大澤政代(日)73.49 (7)ハインツエ(獨)71.49(8)香野扶佐子(日)70.27。

〔オリンピック大會13日〕

昨日の四百の失敗に我が軍、雪辱の意氣に燃え、まづ女子の400米の自由形に守岡、小島の二人が準決勝に残り、1500で寺田、鶴藤、石原田選手豫選を一着で通過し、200米の平泳でも葉室、小池伊藤の三名一着で残した。背泳は米國好調で、とにかく三名は準決勝を通過したが日本の陣影はさびしい。女子の高飛込の決勝に大澤禮子嬢四位、香野嬢が六位となつて、飛込にも氣焔をあげる。

(1)ポイントナーヒル(米)33.93(2)ダン(米)33.63(3)コエーレル(獨)33.43(4)大澤禮子(日)32.53(5)ギリセン(米)30.47 (6)香野扶佐子(日) 30.24

男子100米自由形 オリンピア記録 58.0 宮崎康二
(日)1932

豫選

- A 1. フイツク (米) 57.7(オリム新)
2. チツク (匈) 58.3
3. ガブリエルセン (英) 1:01.2
4. ハムマーソン (加) 1:02.1
5. タットー (伯) 1:02.6
6. カドリ (埃) 1:03.8
- B 1. 遊佐正憲 (日) 57.8
2. ハイランド (米) 59.9
3. ケンドール (濠) 1:01.0
4. ローライド(エスト)1:01.5
5. キャヴァレロ (佛) 1:02.2
6. モーイ (蘭) 1:03.4
- C 1. フレンチャーウイリアムス
(英) 1:00.7
2. アジアルデイン (比) 1:01.0
3. シュワルツ (獨) 1:01.8
4. ブーン (加) 1:02.4
5. サントス・モラエス(伯) 1:03.5
6. ツオベルニク (濠) 1:03.9
- D 1. 新井茂雄 (日) 57.7(オリム新)
2. フイツシク (獨) 57.9
3. グロフ (匈) 1:01.3
4. レオナード・スペンス
(バーミュダ)1:01.9
5. ドジユクラード (佛)
- E 1. 田口正治 (日) 57.5(オリム新)
2. クリステンセン (丁) 1:01.1
3. ラーセン (加) 1:01.5
4. ザキ (埃) 1:03.7
5. パズ・ユルダン (ベル) 1:05.6
6. プロデオーゴス (英) 1:08.2
- F 1. ウイルフアン(ユーゴー)1:00.6
2. ハイベル (獨) 1:01.4
3. オビアル (比) 1:01.7
4. ダヴ (英) 1:01.8
5. マラネス (伯) 1:03.3
6. ヤング
(バーミュダ)1:07.8
- G 1. リンデゲレン (米) 58.3 (8?)
2. アバイネメス (匈) 1:00.2
3. ヒータネン (芬) 1:01.0
4. スタム (蘭) 1:01.3
5. ベテルセン (丁) 1:01.6

6. ジリルリ(スイス)1:04.1
準決勝

- A 1. 田口正治 (日) 57.9
2. チツク (匈) 58.1
3. フイツク (米) 58.2
4. フイツシク (獨) 58.7
5. ヒータネン (芬) 1:00.5
6. フレンチャーウイリアムス
(英) 1:01.0
- B 1. 遊佐正憲 (日) 57.5(オリム新)
2. 新井茂雄 (日) 57.9
3. リンデゲレン (米) 58.7
4. ハイランド (米) 59.4
5. ケンドール (濠) 59.9
6. ハイベル (獨) 1:00.3

決勝

1. チツク (匈) 57.6
2. 遊佐正憲 (日) 5 m.25.6) 57.9
3. 新井茂雄 (日) 58.0
4. 田口正治 (日) 58.1
5. フイツミヤ (獨) 59.3
6. フイツク (米) 59.7
7. リンデクレン (米) 59.9

水温22度、午後3時半からスタート。コースは1.新井、2.遊佐、3.リンデゲレン、4.フィツク、5.フィツシヤ、6.田口、7.チツクの順、スタートは切られた。やゝ遊佐おくれ、20米でフィツク、フィツシヤ、田口の順、50のターンで遊佐トツプ。ラツプは25.8この間にチツク遊佐に肉薄し、ラストの10米で遊佐と頭を並べ、競り合ひ結局チツク優勝、遂に大切な劈頭第一の決勝を失ふ。

女子200米平泳 オリンピア記録3:06.3 デニス(濠)
1932

豫選

- A 1. ズエーレンゼン (丁) 3:06.7
2. イスベリー (瑞) 3:08.7
3. ワールベルグ (蘭) 3:10.4
4. ホエルツネル (獨) 3:11.0
5. シラー (米) 3:17.4
6. キングストン (英) 3:21.7
- B 1. ゲネンゲル (獨) (100m.1:27.4)
3:03.0(オリム新)
2. カステイン (蘭) 3:07.8
3. 壺井宇乃子 (日) 3:15.0
4. ラツバライネン (芬) 3:19.7
5. ゴヴェドニク (米) 3:25.3

- C
1. 前畑ヒデ子 (日) 3:01.9(オリン新)
 2. クリステンセン (丁) 3:12.0
 3. ゴム (英) 3:15.7
 4. カミングス (米) 3:21.9
 5. プーベロヴァ(チエコ)3:25.8
 6. ウイス(スイス)3:31.3

- D
1. ウオルシュレーゲル (獨) 3:08.5
 2. ストアレー (英) 3:10.8
 3. レンク (伯) 3:17.2
 4. ニールセン (丁) 3:21.3
 5. ストロームベルク(蘭) 3:22.5

準決勝

- A
1. 前畑ヒデ子 (日) 3:03.1
 2. ゴエーレンゼン (丁) 3:08.8
 3. ホエルツネル (獨) 3:06.0
 4. ワールベルグ (和) 3:09.7最優四等
 5. ウオルシュレーゲル(獨)3:10.3
 6. ゴム (英) 3:15.8
 7. レンク (伯) 3:17.7

- B
1. ゲネンゲル (獨) 3:02.8
 2. カステイン (和) 3:09.2
 3. ストアレー (英) 3:09.8
 4. イスベリー (瑞) 3:11.4
 5. クリステンゼン (丁) 3:14.1
 6. 壺井宇乃子 (日) 3:18.4
 7. シラー (米) 3:18.5

決勝

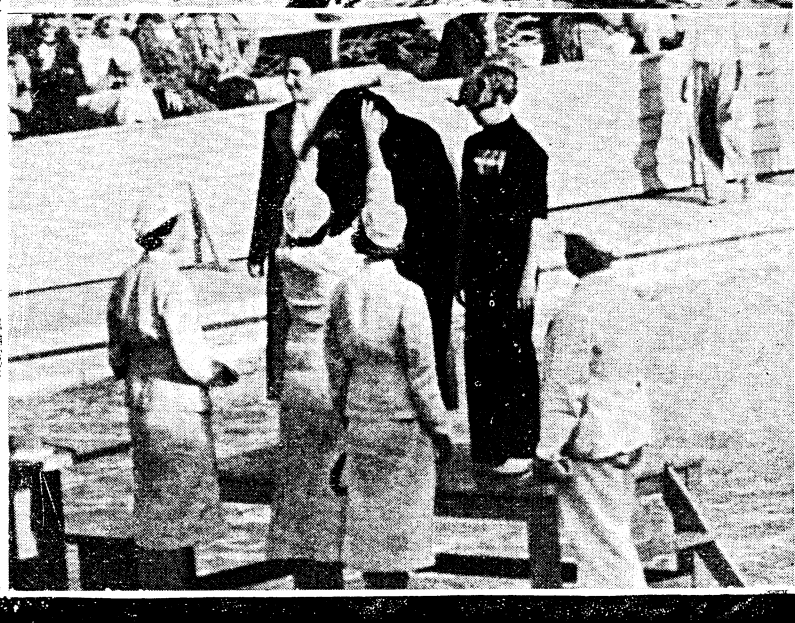
1. 前畑ヒデ子 (日) 3:03.6
2. ゲネンゲル (獨) 3:04.2
3. ゴエーレンゼン (丁) 3:07.8
4. {ホエルツネル (獨) 3:09.5
{ワールベルグ (和) 3:09.5
6. ストアレー (英) 3:09.7
7. カステイン (蘭) 3:12.8

前畑6コース、ゲネンゲル7コース。スタートは切れ、50米で早くも二人は群をぬく。50のターン同時。100米前畑やゝ先んず。最後の50のターンでやゝゲネンゲルを抑へ更に頑張り3米ほど離す。終りの20でゲネンゲル力泳、再び追ひ詰めると見えたが、ラストスパートきいて半米ほど離し、ゴールイン。

女子100米自由形 オリンピア記録1:06.8マヂソン(米)1932

豫選

- A
1. マステンプロエク(蘭) 1:06.4(オリン新)
 2. アーレント (獨) 1:07.3



上 100米自由形の直後故國の母に電話で優勝を知らせるハンガリーのチツク
中 前畑・ゲネンゲルの火の出る様な決戦
下 200米平泳の決勝に於て月桂冠を戴く前畑



・女子200米平泳優勝儀例式・

- | | | | | | | | |
|---|----|-----------------|--------------|-----|----|---------------|---------------|
| | 3. | ロールズ (米) | 1:08.5 | | 4. | シュラメツコク (チェツ) | 1:11.8 |
| | 4. | デュワー (加) | 1:09.2 | | 5. | マツケー (濠) | 1:13.8 |
| | 5. | アルント (丁) | 1:10.4 | | 6. | モラエス (伯) | 1:16.2 |
| | 6. | ヒントン (英) | 1:13.0 | E | 1. | ラツブ (米) | 1:09.0 |
| B | 1. | オウデン (蘭) | 1:08.1 | | 2. | レンケイ (匈) | 1:09.9 |
| | 2. | デラシー (濠) | 1:08.5 | | 3. | ストーン (加) | 1:10.0 |
| | 3. | マツキーン (米) | 1:09.3 | | 4. | ローマル (獨) | 1:10.3 |
| | 4. | アクス (匈) | 1:12.7 | | 5. | ブロードー (佛) | 1:10.9 |
| | 5. | ペリー・ミルトン (加) | 1:15.8 | | | | |
| | 6. | 古田つね子 (日) | 1:14.6 | 準決勝 | | | |
| C | 1. | キャムベル (亞) | 1:06.6 | A | 1. | マステンブロエク (蘭) | 1:01.4 (オリム新) |
| | 2. | ワクネル (蘭) | 1:08.9 | | 2. | アーレント (獨) | 1:07.2 |
| | 3. | アセバド・クウティンホ (伯) | 1:09.4 | | 3. | ロールズ (米) | 1:08.5 |
| | 4. | スヴェンゼン (丁) | 1:10.3 | | 4. | ワリネル (蘭) | 1:08.6 |
| | 5. | シュミツク (獨) | 1:10.9 | | 5. | クウティンホ (伯) | 1:09.6 |
| | 6. | グラント (英) | 1:12.1 | | 6. | デュワー (加) | 1:09.6 |
| D | 1. | ブエーガー (丁) | 1:09.6 | | 7. | 小島カズエ (日) | 1:11.1 |
| | 2. | 小島カズエ (日) | 1:11.0 (日本新) | | 8. | レンケイ (洪) | 1:12.1 |
| | 3. | ワダム (英) | 1:11.5 | B | 1. | キャムベル (亞) | 1:06.6 |
| | | | | | 2. | オウデン (蘭) | 1:06.7 |
| | | | | | 3. | マツキーン (米) | 1:08.9 |

4. ラ ッ ブ (米) 1:09.6
5. ド・ラシー (濠) 1:10.0
6. ワ ダ ム (英) 1:12.0
7. ス ト ー ン (加) 1:12.8
8. ブ エ ー ゲ ル (丁) 1:14.0

決 勝

1. マステンプロエク(蘭) 1:05.9(オリム新)
2. キヤムベル (亞) 1:06.4
3. アーレント (獨) 1:06.6 (獨新記)
4. デン・オウデン (蘭) 1:07.6
5. ワグネル (蘭) 1:08.1
6. マツキーン (米) 1:08.4
7. ロー ル ズ (米) 1:08.7

800米リレー オリムピア記録8:58.4(日本)1932

豫 選

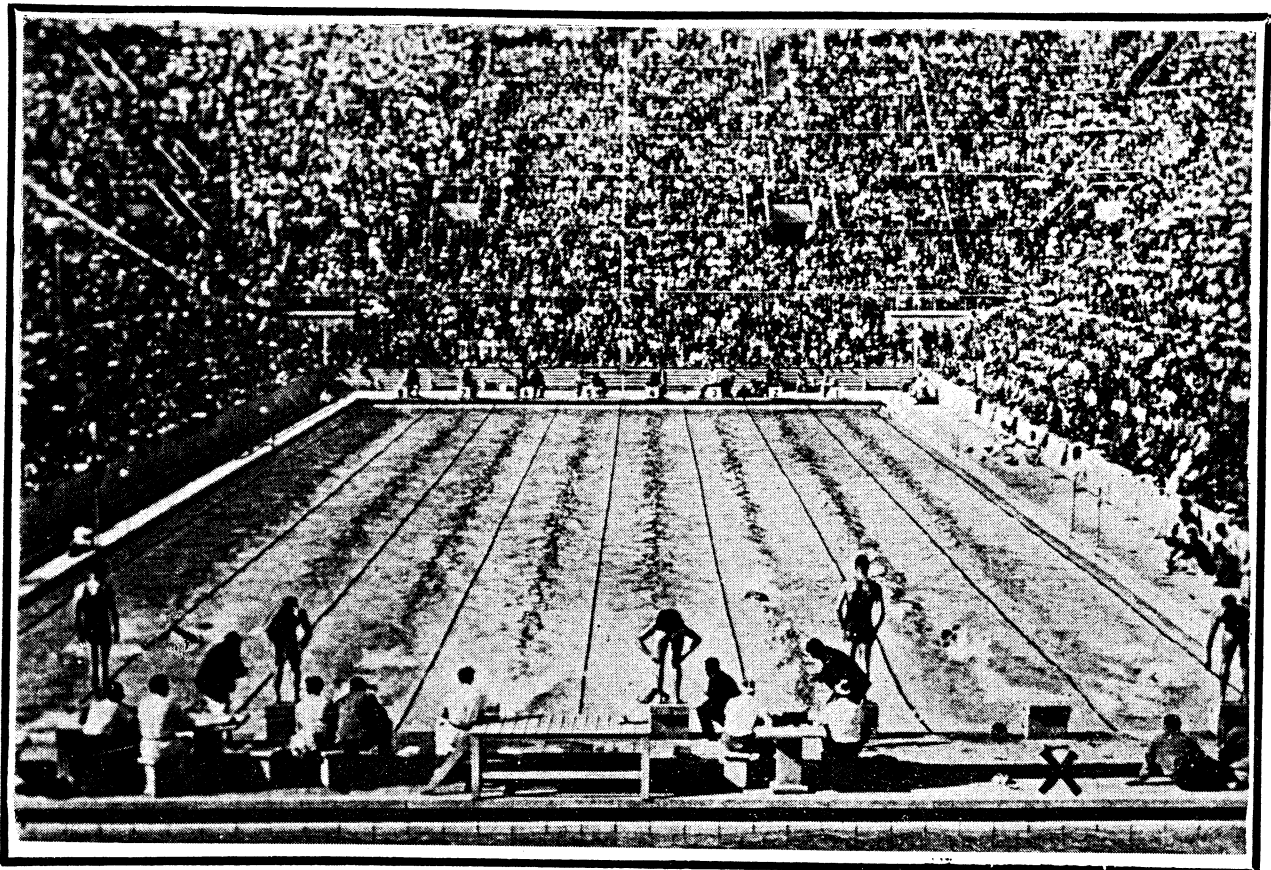
- A
1. フランス ナカシユ、タリ、カヴァエ
ロ、タリス 9:21.7
 2. カ ナ ダ 9:30.8
 3. ブ ラ ジ ル 9:42.5
- B
1. 米 國 9:10.4
ハッター 2:18.4 ギルマン 2:17.9
ウオルフ 2:17.1 メデイカ 2:17.0
 2. ハ ン ガ リ ー 9:20.8
 3. イ ギ リ ス 9:30.8

- C
1. 日 本 8:56.1(オリムピア新)
遊 佐 2:14.8 杉 浦 2:14.2
田 口 1:14.2 新 井 2:12.9
 2. ド イ ツ 9:24.8
 3. ス エ ー デ ン 9:35.3

決 勝

1. 日 本 8:51.5(オリムピア並世界新)
遊 佐 2:13.4 杉 浦 2:11.9
田 口 2:13.0 新 井 2:13.2
2. 米 國 9:03.0
フラナガン2:15.4 マチオニス2:16.0
ウオルフ メデイカ
3. ハ ン ガ リ ー 9:12.3 (新歐記)
グロフ、レンジエル、——、チック
4. フ ラ ン ス 9:18.2 (新俳記)
——、——、——、タリス 2:16.0
5. ド イ ツ 9:19.0 (新獨記)
プラト、ハイムリヒ、ハイベル、フ
イツシャー
6. イ ギ リ ス 9:21.5
7. カ ナ ダ 9:27.5
8. ウ エ ー デ ン 9:37.5

・男子800米リレー第一泳者と第二泳者の引継ぎ
右より・ドイツ・日本・スウェーデン・ハンガ
リー・米國・カナダ 英の順



決勝は三時半から始まる。米國はギルマン、ハツターの代りにフラナガン、マシオニスを以てする。コースは獨・日・匈・米・加・英・佛の順、スタートからプラト(獨)飛出し50mではリードしたが遊佐及びフラナガン(米)並んで出で之を抜き、100では遊佐先頭フラナガンこれに續く。最後に4米以上はなして、新井引繼ぐ。遊佐2:13.4、フラナガン(米)2:15.4、グロフ(洪)2:16.0杉浦調子よく50の折返でマチオニスを4米も離す。3番の田口に引繼いだ時はその差8米。杉浦の力泳が800リレーの勝敗を決定し安泰にした功は特筆に値する。杉浦2:11.9マチオニス2:16.0、田口亦力泳ウォルフとの差約13米、田口2:13.0、ウォルフ2:16.0メデイカはラストの新井に追泳したが約15米の差で終結し8:51.5の世界並オリンピック新記録を作つて優勝。新井2:13.2、メデイカ2:15.6。

400米自由形 オリンピア記録 4:48.4 クラブ(米) 1932

豫選

- A 1. 根上博 (日) 4:52.6
- 2. マチオニス (米) 4:57.1
- 3. アーレント (獨) 4:57.2
- B 1. リーヴァース (英) 4:57.2
- 2. プルツイワラ (獨) 5:11.7
- 3. ヘルストローム (丁) 5:18.2
- C 1. 牧野正藏 (日) 4:51.5
- 2. フラナガン (米) 4:54.7
- 3. ウェーンライト (英) 5:03.6
- D 1. グロフ (洪) 4:59.4
- 2. フレーゼ (獨) 5:03.1
- 3. ヒータネン (芬) 5:08.9
- E 1. 鵜藤俊平 (日) 4:47.5 オリンピック新記録
- 2. タリス (佛) 4:53.9
- 3. ビリリー (加) 4:56.0
- F 1. メデイカ (米) 4:55.9
- 2. レドガード (祕) 5:05.5
- 3. スタム (和) 5:07.8

準決勝

- A 1. 鵜藤俊平 (日) 4:48.4
- 2. フラナガン (米) 4:54.9
- 3. 根上博 (日) 4:55.4
- 4. マチオニス (米) 4:56.4
- 5. フレーゼ (獨) 4:58.5
- 6. ビリリー (加) 4:58.7
- 7. グロフ (匈) 5:01.9
- B 1. 牧野正藏 (日) 4:48.2
- 2. メデイカ (米) 4:48.2

- 3. タリス (佛) 4:55.6
- 4. リーヴァース (英) 4:55.7
- 5. アーレント (獨) 5:13.4
- 6. プルツイワラ (獨) 5:14.9

決勝

- 1. メデイカ (米) 4:44.5 オリンピック新記録
- 2. 鵜藤俊平 (日) 4:45.6
- 3. 牧野正藏 (日) 4:48.1
- 4. フラナガン (米) 4:52.7
- 5. 根上博 (日) 4:53.6
- 6. タリス (佛) 4:53.8
- 7. リーヴァース (英) 5:00.9

一コースから我が根上、メデイカ、鵜藤、リヴァース、タリス、牧野の順だ。三時廿分スタート、25米でメデイカリードしてゐるが50米のターンでは根上出でてトップ。メデイカ、リヴァース、鵜藤の順100米になつて鵜藤漸く出で、直ぐ後にメデイカ、根上となり、150米でも鵜藤、メデイカ鵜藤の順だがその差は僅かである。そのまゝ200米はすぎ、250米で鵜藤約半米メデイカにリード、牧野、根上は並んで三四位、300米にかゝつて鵜藤メデイカを1米離すがメデイカよく喰ひついて行く、350米のターン依然として鵜藤トップ最後の50米になつてメデイカの追泳物凄く、じりじりと鵜藤に迫り、最後の25米で並んでしまつた。最後の10米で遂にメデイカ鵜藤を抜いてしまつた。メデイカの途中時間は100米1:06.1、200米2:19.9、300米3:35.0であつた。

女子100米背泳 オリンピア記録1:18.3ホルム(米) 1932

豫選

- A 1. センフ (和) 1:16.6 オリンピック新記録
- 2. ブルンストローム (丁) 1:20.4
- 3. フラムトン (英) 1:20.9
- 4. シュトルテ (獨) 1:23.1
- 5. マツケー (濠) 1:24.6
- 6. デヨルフィ (洪) 1:25.8
- 7. オクセンベリー (加) 1:28.9
- 8. レンク (伯) 1:32.0
- B 1. ブリツヂェス (米) 1:19.2
- 2. ケルクメーステル(蘭) 1:21.2
- 3. ハーディング (英) 1:22.1
- 4. ノートン (濠) 1:22.3
- 5. ルブケ (獨) 1:23.7
- 6. ブロンドー (佛) 1:23.8
- 7. ワクネル (澳) 1:28.4
- C 1. モートリツヂ (米) 1:21.0

2. マステンブロエク(蘭) 1:22.0
3. ハンコック(英) 1:23.6
4. ニールセン(丁) 1:25.3
5. マツコンプエー(濠) 1:25.4
6. 楊秀瓊(支) 1:36.4

準決勝

- A
1. センフ(和) 1:17.1
 2. モートリツヂ(米) 1:19.1
 3. ブルンストロエム(丁) 1:19.7
 4. ハーディング(英) 1:19.8
 5. シュトルテ(獨) 1:21.7
 6. ノートン(濠) 1:21.9
- B
1. マステンブロエク(和) 1:19.1
 2. フラムトン(英) 1:19.6
 3. ブリツヂエス(米) 1:20.4
 4. ケルクメーステル(蘭) 1:21.3
 5. ハンコック(英) 1:21.6
 6. ニールセン(丁) 1:22.0

決勝

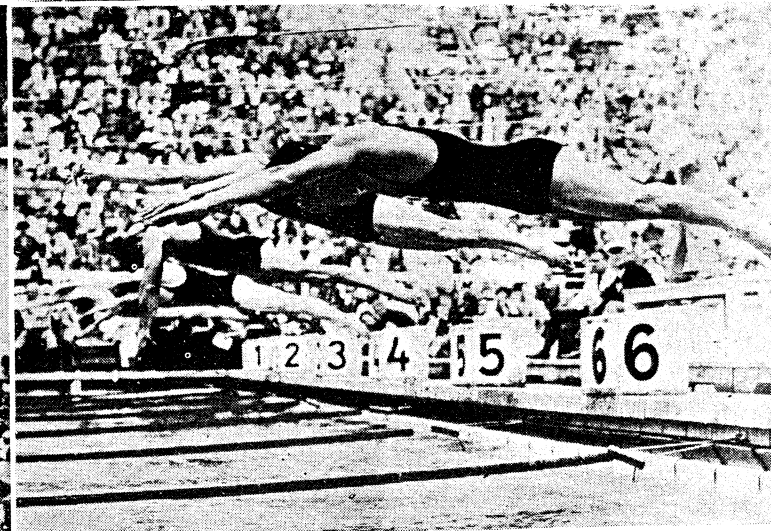
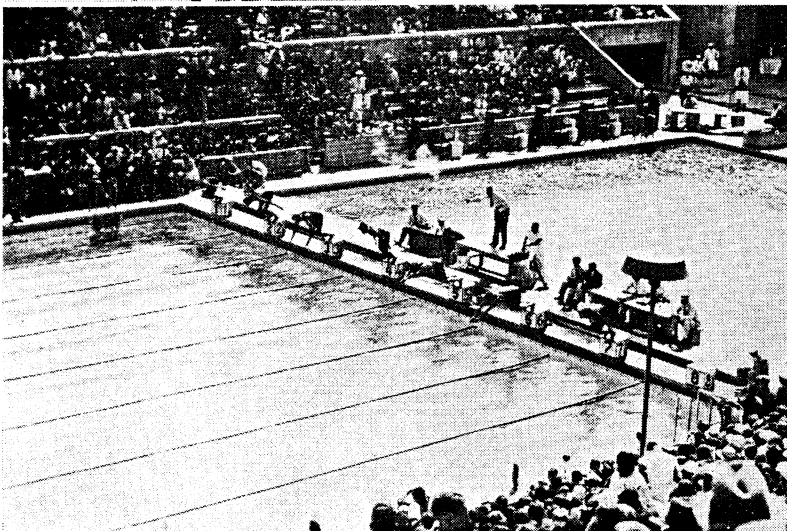
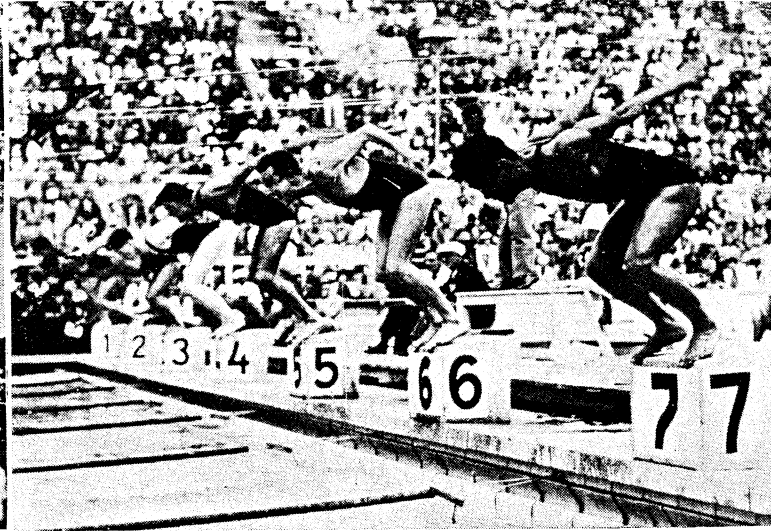
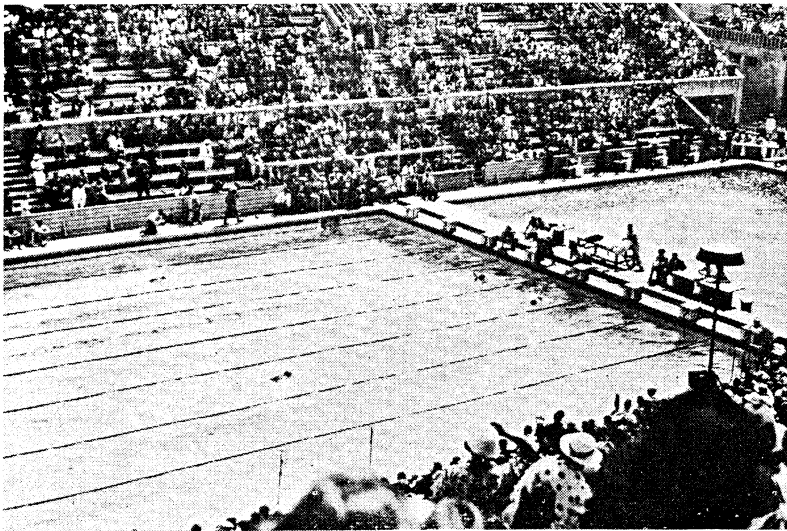
1. センフ(和) 1:18.9
2. マステンブロエク(和) 1:19.2
3. ブリツヂエス(米) 1:19.4
4. モートリツヂ(米) 1:19.6
5. ブルンストロエム(丁) 1:20.4
6. フラムトン(英) 1:20.6
7. ハーディング(英) 1:21.5

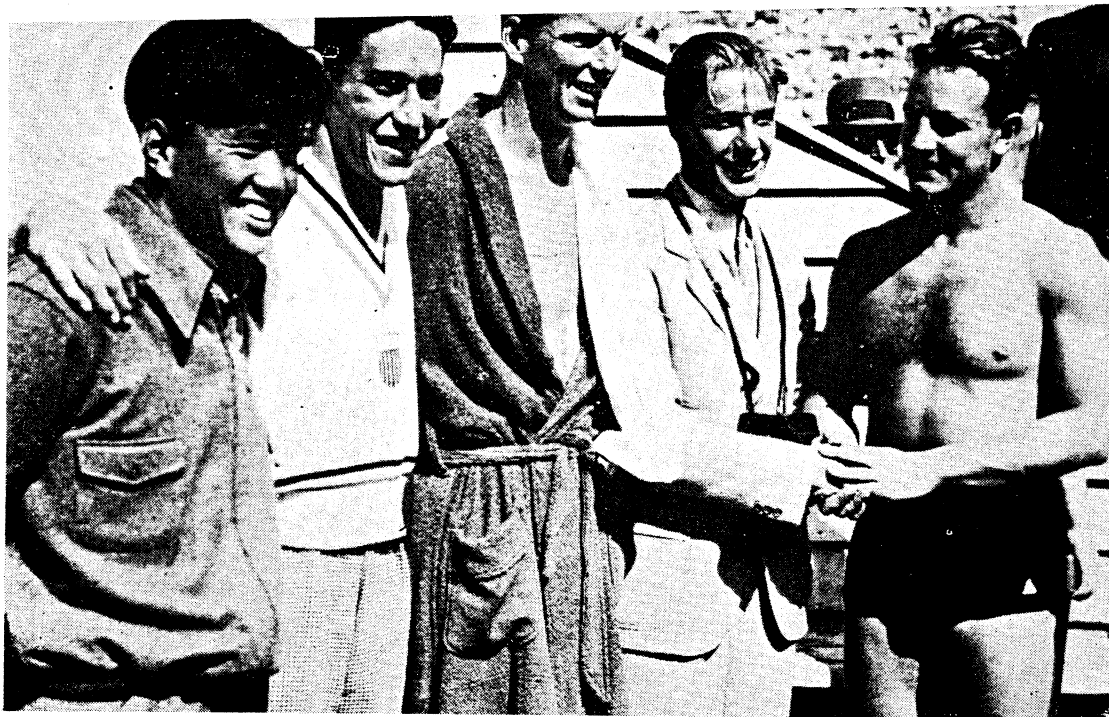
「女子400米リレー」 オリンピア記録4:38.0米國1932

- 豫選 A
1. 米 國 4:47.1
 2. 英 國 4:47.2
 3. カスタナグ 4:49.7
 4. ハンガリー 4:50.6
 5. オーストリー 5:16.6
- B
1. オランダ 4:38.1
 2. ドイツ 4:40.5
 3. デンマーク 4:46.2
 4. 日本 4:58.1(日本記録)

• 上—男子400米準決B—牧野—メデイカ同着
• 下—準決B組のスタート

• 男子400米決勝スタート右より牧野—タリス
• フラガナン・リーヴァース・鵜藤・メデイカ・根上





スプリングボードに四等になつた
柴原隆が米のグリーンウエーン
優勝した米のデゲナ 獨のワイス

(小島、守岡、古田、竹村)

- 決勝 A 1. オランダ 4:36.0 ^{オリムピア}
セルバツク1:10.8 ワゲネル1:09.6 ^{新記録}
1:09.5 マステンブロエク1:06.1
2. ドイツ 4:36.8
ハルプスグート 1:10.4 ローマール1:09.4
シュミツツ7:10.4 アレント1:06.6
3. アメリカ 4:40.2
ロールズ10:10.1 ラップ1:09.1 フリーマン
1:11.7 マツキーン1:09.2
4. ハンガリー 4:48.0
アリス1:14.3 ビロ1:12.7 ハルサニ1:11.3
レンケイ1:09.7
5. カナダ 4:48.0
マツコンフェー1:13.0 ピリー1:12.6 ストーン
1:12.0 チュワー1:09.7
6. イギリス 4:51.0
ジェツフアリー1:13.1 グラント1:13.9 ワダム
1:14.4 クナーベス1:9.6
7. デンマーク 4:54.0
ブエーゲル1:14.3 ブルンストロエム1:12.0
スヴェンゼン1:13.7 アルント1:14.0

男子100米背泳 オリムピア記録1:08.2 コージャ
ツク(米) 1932

豫選

- A 1. キーフア(米) 1:06.9 ^{オリムピア}
2. 清川正二(日) 1:07.2 (1:09.2?) ^{新記録}
3. シュワルツ(獨) 1:11.0
4. ゴムボス(洪) 1:12.4
5. ミッドルトン(英) 1:15.0
B 1. ドライスデール(米) 1:09.0

2. シュラウフ(獨) 1:10.1
3. ウイルファン(ユーゴ) 1:11.7
4. シエツフェル(和) 1:13.6
5. レンジェル(洪) 1:15.2
6. ブーン(加) 1:17.2
7. アマラルフィルホ(伯) 1:21.0
C 1. 兒島泰彦(日) 1:09.7
2. ヴエンデ・ウエー(米) 1:10.6
3. クリスチャンセン(比) 1:11.5
4. ジモン(獨) 1:11.7
5. エルデリー(洪) 1:14.7
6. ノイマン(ルクセムブルグ)
1:18.8
D 1. ベスフォード(英) 1:12.0
2. カ(加) 1:12.9
3. ボリー(瑞) 1:15.2
4. ロライド(エストランド) 1:21.1
5. マリデス(希) 1:21.5
E 1. 吉田喜一(日) 1:10.0
2. オリヴァー(濠) 1:10.2
3. メトマン(和) 1:13.7
4. ノヴォ(伯) 1:17.0
5. ベート(丁) 1:17.3
6. カサ・セムベレ(智) 1:21.0

準決勝

- A 1. キーフア(米) 1:06.8 ^{オリムピア}
2. バンデウエー(米) 1:08.6 ^{新記録}
3. オリヴァー(濠) 1:09.4
4. 吉田喜一(日) 1:09.5
5. クリスチャンゼン(比) 1:11.1
6. ジモン(獨) 1:17.7

- 7. シュワルツ (獨) 1:11.8
- 8. ボリー (瑞) 1:16.3
- B 1. ドライスデール (米) 1:08.6
- 2. 清川正二 (日) 1:09.7
- 3. 兒島泰彦 (日) 1:09.9
- 4. シュラウフ (獨) 1:10.8
- 5. カー (加) 1:11.2
- 6. ウイルフアン(ユーゴ) 1:13.3
- 7. ベスフオード (英) 1:13.9
- 8. メトマン (蘭) 1.14.1

決勝

- 1. キーフア (米) 1:05.9 オリンピック
新記録
- 2. ヴェンデ・ウエー (米) 1:07.7
- 3. 清川正二 (日) 1:08.4
- 4. ドライスデール (米) 1:09.4
- 5. 吉田喜一 (日) 1:09.7
- 6. 兒島泰彦 (日) 1:09.7
- 7. オリヴァー (濠) 1:10.7

スタートからキーフア群をリードし續いて清川必死となつてキーフアを追ふ。50のターンではキーフア、清川に少しばかり先んじ、70あたりでヴァンデウエーと清川盛んに競ふ。ゴール前で遂にヴァンデウエー二着となる。

男子200米平泳 オリンピア記録2:44.9小池禮三 (日) 1932

豫選

- A 1. 葉室鐵夫 (日) 2:42.5 オリンピック
新記録
- 2. ジータス (獨) 2:44.6
- 3. ケイ (米) 2:48.5
- 4. アチャルデイン (比) 2:50.2

- 5. アルブ (伯) 3:02.6

- B 1. 伊藤三郎 (日) 2:45.8
- 2. バルケ (獨) 2:46.4
- 3. ケズレー (米) 2:54.4
- 4. スコウ (丁) 2:57.6
- 5. ベルグイン(バーミュダ) 3:09.8
- 6. バツデー (加) 3:10.2

- C 1. ヒギンス (米) 2:48.8
- 2. アルバド (比) 2:52.6
- 3. イエンゼン (丁) 2:55.7
- 4. サントス (伯) 2:56.8
- 5. モハメド (埃) 2:58.9
- 6. ベロエタ (智) 失格

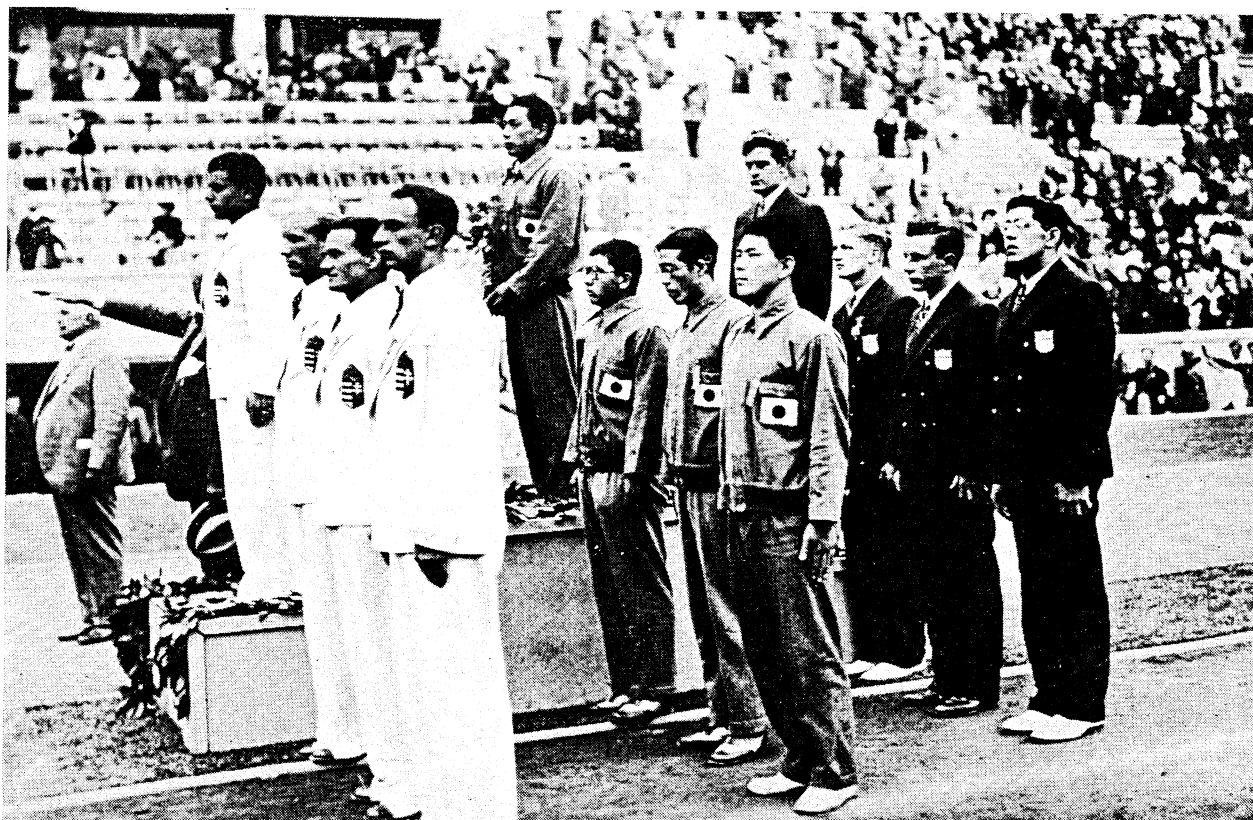
- D 1. レオナード・スベンス(バーミュダ) 2:52.0
- 2. クローゼン (加) 2:54.7
- 3. エルベルト (チエツコ) 2:55.7
- 4. レーブ (智)

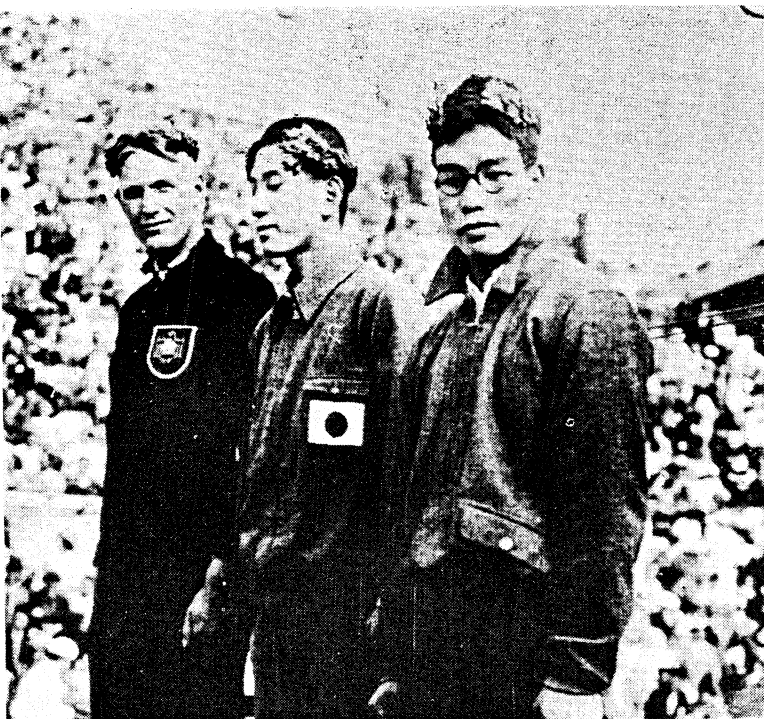
- E 1. 小池禮三 (日) 2:43.8
- 2. イルデフォンソ (比) 2:47.7
- 3. ハイナ (獨) 2:48.5
- 4. マルムストレーム(丁) 2:56.5

準決勝

- A 1. 小池禮三 (日) 2:44.5
- 2. バルケ (獨) 2:45.4
- 3. 伊藤三郎 (日) 2:45.5
- 4. ケイ (米) 2:49.2
- 5. アチャルデイン (比) 2:54.0
- 6. アルバド (比) 2:56.0
- 7. イエンゼン (丁)
- 8. クローゼン (加)

300米リレー優勝儀例式





男子200米平泳優勝儀式・ジータス・葉室・小池

- B 1. 葉室 鐵夫 (日) 2:43.4
 2. ヒギンス (米) 2:44.0
 3. ジータス (日) 2:44.8
 4. イルデフオンソ (比) 2:46.8
 5. ハイナ (獨) 2:47.3
 6. スペンス (バーミュダ) 2:51.6
 片手折返にて失格
 7. ケーズレー (米) 2:53.4
 8. エルベルト (チエコ) 2:53.5
- 決勝1. 葉室 鐵夫 (日) 2:42.5 ^{オリンピック}新記録
 (100m 1:15.1)
 2. ジータス (獨) 2:42.9(100m1:15.8)
 3. 小池 禮三 (日) 2:44.2
 4. ヒギンス (米) 2:45.2(50m35.3)
 5. 伊藤 三郎 (日) 2:47.6
 6. バルケ (獨) 2:47.8(50m34.9)
 7. イルデフオンソ (比) 2:51.1

午後三時半スタート、コースはバルケ、ジータス、ヒギンス、イルデフオンソ、伊藤、葉室、小池の順。ヒギンス例によつてバタフライ、我が三選手水にもぐつて中々出ない。50米でバルケ、ヒギンスの順、小池すこし遅れ、100米では葉室トップ、ヒギンスはもうバタフライを用ひない。150米のターンも葉室トップ、續いてジータス、小池の順となる。ジータスの追撃物凄く、170で葉室と並ぶと見えたが、葉室レースの初頭の如く元気に泳いでジータスを0.5米引離して優勝。之で優勝は日本2.米國2となつた

女子400米自由形 オリンピア記録5:28.5マヂソン (米) 1932

- 豫選
 A 1. ブエーゲル (丁) 5:28.0 ^{オリンピック}新記録
 2. ウィンガード (米) 5:34.0

3. クウテインホ (伯) 5:35.5
 4. マーコム (英) 6:00.8
 5. ハルサンニ (洪) 6:14.7
 B 1. ワクネル (蘭) 5:57.5
 2. ソテイー (洪) 6:14.8
 C 1. フレデリクセン (丁) 5:39.5
 2. テイムメルマンス(蘭) 5:42.5
 3. フレーレ (佛) 5:46.8
 4. 守岡ハツ子 (日) 5:51.0
 5. ド・ラシー (濠) 5:51.9
 D 1. カルルセン (丁) 5:57.1
 2. ジエフアリー (英) 6:12.7
 3. ペテイ (米) 6:16.6
 E 1. マステンブローク (蘭) 5:38.6
 2. シュラメツコフア(チエツコ) 5:47.5
 3. 小島カズエ (日) 5:50.4

準決勝

- A 1. マステンブローク(蘭) 5:50.4
 2. カイト・ウインガード(米) 5:42.2
 3. フレデリクセン (丁) 5:42.5
 4. ワクネル (蘭) 5:45.9
 5. シュラメコフ(チエコ) 5:46.0
 6. 守岡ハツ子 (日) 5:49.1
 7. ソテイー (洪) 6:11.2
 B 1. ブエーゲル (丁) 5:33.7
 2. クウテインホ (伯) 5:42.3
 3. 小島カズエ (日) 5:43.5
 4. ペテイ (米) 5:45.9
 5. フレーレ (佛) 5:46.1
 6. テイムルメマンス(蘭) 5:49.4
 7. カルルスセン (丁) 5:55.0
 8. ジエツフアーリー(英) 6:07.2

決勝1. マステンブローク(蘭) 5:26.4 ^{オリンピック}新記録

- 1:14.7 2:41.5 4:06.0
 2. ブエーゲル (丁) 5:27.5
 1:14.7 2:40.2 4:05.0
 3. カイト・ウインガード (米) 記録ナシ
 1:14:6 2:40.2 4:06.2
 4. ペテイ (米) 5:32.2
 5. クウテインボ (伯) 5:35.2
 6. 小島カズエ (日) 5:43.1 (日本新記録)
 7. フレデリクセン (丁) 5:45.0
 8. ワクネル (蘭) 5:46.0

小島第6コース、五コースのフレデリクセンと争つてゐたが、300米頃からオランダのワハネルも疲れて遅れ、三人の殿り競争となつた。小島よく頑張りが、ゴール直前で二人を抜いて六着となつた。一着はマステンブローク。初めウイングード、フェーゲル先頭を切つて進んでゐたがラストでこれをぬいて一着となる。

男子1500米自由形 オリムピア記録19:12.4北村久壽雄(日) 1932

豫選

- A 1. 石原田 愿 (日) 19:55.8
 2. リーヴアス (英) 20:04.4
 3. アーレント (獨) 20:10.7
 4. ピリ一 (加) 20:16.4
 5. ビラルル (伯) 21:49.9
 6. アンジェル (洪)

- B 1. 寺田 登 (日) 19:55.5
 {メデイカ (米) 19:55.5
 3. ヨエルゲンセン (丁) 21:42.0
 4. フーバー (加) 21:47.4
 5. ハヴェラング (伯) 22:54.4

- C 1. 鵜藤 俊平 (日) 19:48.3
 2. フラナガン (米) 19:49.9
 3. フレーゼ (獨) 20:13.7
 4. タルリ (佛) 21:03.0
 5. ハムマーソン (加) 21:05.5
 6. ヘルストロエム (丁) 21:16.9

- D 1. クリステイ (米) 20:26.5
 2. ウェーンライト (英) 20:47.6
 3. プルツイクラ (獨) 20:59.0
 4. バデル (奥) 21:13.9

準決勝

- A 1. 寺田 登 (日) 19:48.6
 2. フラナガン (米) 19:59.4
 3. リーヴアス (英) 20:10.0
 4. クリステイ (米) 20:25.8
 5. フレーゼ (獨) 20:27.6
 6. プルツイワラ (獨) 20:55.0
 7. ヨエルゲンセン (丁) 21:46.3

- B 1. メデイカ (米) 19:42.8
 2. 石原田 愿 (日) 19:53.9
 3. 鵜藤 俊平 (日) 19:55.6
 4. アーレント (獨) 19:56.1
 5. ウェーンライト (英) 20:14.4
 6. ピリ一 (加) 20:17.3
 7. タルリ (佛) 21:09.8

準決勝B組の途中時間

	メデイカ	石原田	鵜藤	アーレント
100	1:12.0	1:13.0	1:13.2	1:00.1
200	2:29.0	2:30.0	2:30.1	2:26.5
300	3:46.6	3:46.9	3:47.0	3:46.7
400	5:01.5	5:10.5	5:10.0	5:07.0
500	6:24.5	6:28.9	6:28.8	6:28.8
600	7:43.5	7:50.3	7:50.2	7:50.3
700	9:03.2	9:08.0	9:08.5	9:11.0
800	10:23.1	10:30.8	10:32.0	10:34.0
900	11:43.0	11:50.3	11:53.0	11:55.0
1000	13:01.9	13:10.2	13:15.3	13:15.3
1100	14:21.6	14:31.0	14:37.1	14:37.1
1200	15:40.7	15:52.0	15:58.0	15:58.0
1300	17:00.0	17:13.0	17:19.8	17:19.8
1400	18:20.3	18:34.5	18:40.6	18:41.0
1500	19:42.8	19:53.9	19:55.6	19:56.1

決勝

1. 寺田 登 (日) 19:13.7
 2. メデイカ (米) 19:34.0
 3. 鵜藤 俊平 (日) 19:34.5
 4. 石原田 愿 (日) 19:48.5
 5. フラナガン (米) 19:54.8
 6. リーヴアス (英) 19:57.4
 7. アーレント (獨) 19:59.0

途中時間(寺田)

100	1:07.4	800	10:05.5
200	2:22.6	900	11:24.0
300	3:38.7	1000	12:43.1
400	4:55.6	1100	14:01.7
500	6:12.7	1200	15:19.8
600	7:29.8	1300	16:37.0
700	8:47.6	1400	17:55.6

午後4時10分、コースは石原田、メデイカ、鵜藤寺田、アーレント、フラナガン、リーヴアスの順で、メデイカをはさんでスタートをきる。150で寺田先頭にたち、フラナガン、リーヴアス、アーレント続く、メデイカは鵜藤、石原田と共に遅れてゐたが200をすぎでフラナガンを寺田4米も離す、メデイカ鵜藤をすこし離すが寺田とは大分差がある。

500でも寺田断然トップ。フラナガンおくれ、メデイカ寺田を追ふ、しかしその差は依然として大きい、メデイカは800でのラップは10:15.2寺田は10:5.5、1000米で寺田は12:43.1であるがメデイカ12:53.0、1200、300と依然としてその差15米以上、最後の100米ラストスパート鮮かに、メデイカを25米離してゴール。メデイカに10米離された鵜藤も、追泳凄く追いついたかと思はせたが、僅かの差で3着となつた。

● 飛 込 競 技 ●

男子飛板飛込		規定飛得点	總得点			
1.	デゲナー (米)	74.86	163.57	13.	ニーメライネン(芬)	55.98 116.80
2.	ウエーン (米)	72.47	159.56	14.	マスターズ (濠)	56.72 115.72
3.	グリーン (米)	68.64	146.29	15.	ネスヴァトバ (チェコ)	50.52 111.44
4.	柴原恒雄 (日)	70.02	144.92	16.	ハースマン (蘭)	48.24 111.44
5.	ワイス (獨)	66.71	141.24	17.	スタイネル (澳)	51.76 109.54
6.	エツセル (獨)	62.31	137.99	18.	ヒドヴェジ (洪)	51.63 107.49
7.	マーラウン (獨)	59.49	134.61	19.	アーマッド (埃)	46.98 105.02
8.	小柳富男 (日)	63.29	133.07	20.	ホツヂェス (英)	48.58 102.98
9.	ライケルト (チェコ)	62.99	131.91	21.	ボエニ (スイス)	52.08 95.84
10.	ツイヘル (ユーゴ)	57.56	125.26	22.	ボデイ (洪)	40.66 85.42
11.	イスマイル (埃)	62.75	121.67	23.	ハツプル (スイス)	39.90 80.24
12.	エンケレ (佛)	60.26	117.72			(此競技のみ詳細な点数が報告されてゐない)

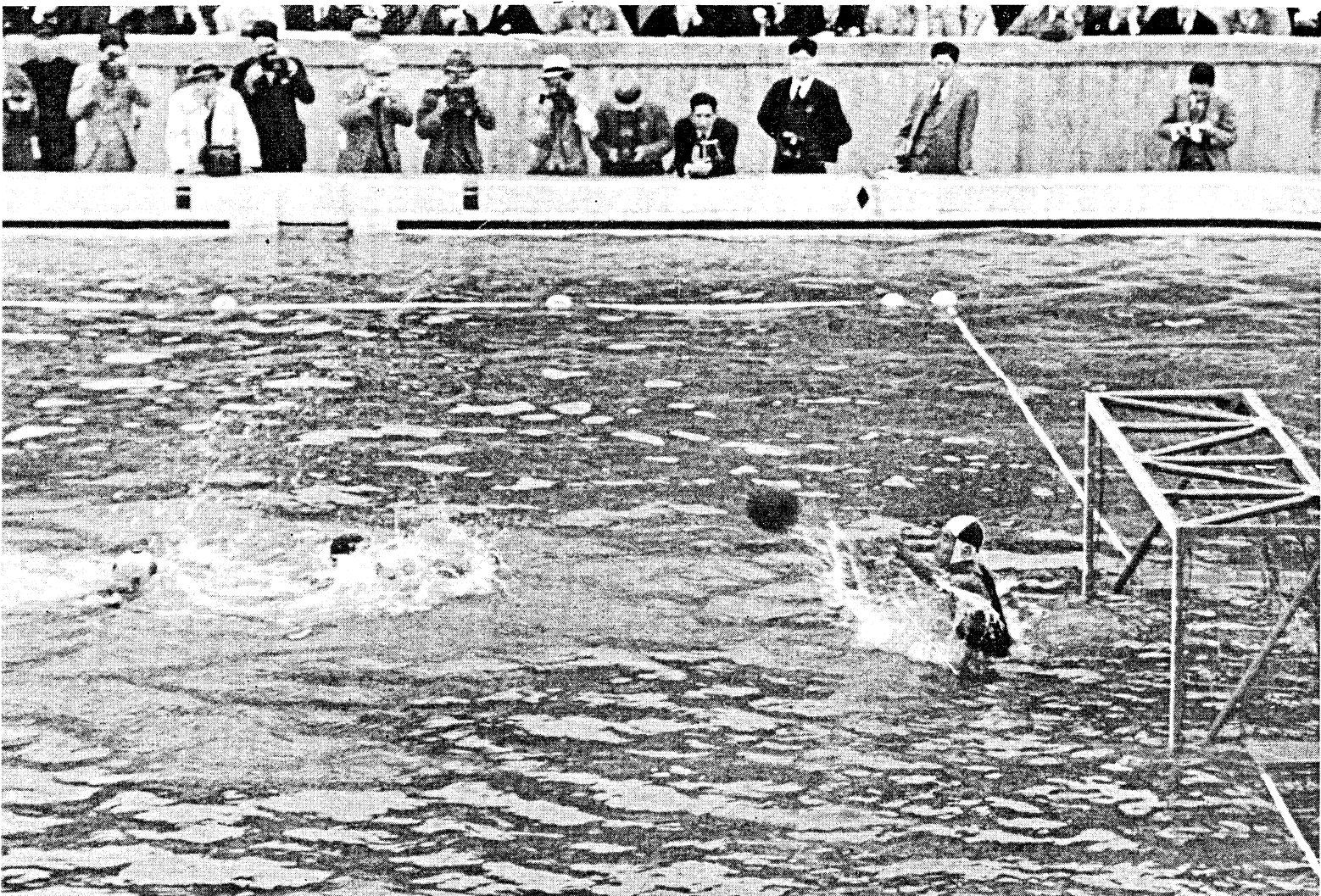
	男子高飛込				規定飛				選擇飛				總得点	
	1.	2.	3.	4.	1.	2.	3.	4.	1.	2.	3.	4.		
1.	ウエーン (米)	8.65	9.00	14.58	14.82	16.72	17.60	16.33	16.28					113.58
2.	ルート (米)	7.92	8.88	12.60	14.25	15.84	17.38	17.02	16.33					110.60
3.	ストルク (獨)	8.03	8.76	13.68	14.06	17.71	13.20	17.71	17.16					110.31
4.	ワイス (獨)	8.36	9.24	13.86	14.68	17.16	16.10	15.84	14.96					110.15
5.	カーツ (米)	7.59	8.64	13.32	12.16	16.94	16.72	17.60	15.64					108.61
6.	柴原恒雄 (日)	7.81	8.88	13.50	13.30	15.84	15.18	15.41	17.48					107.41
7.	フィーバーン (獨)	7.70	8.28	11.16	14.25	15.87	15.62	16.28	15.84					105.00
8.	小柳富男 (日)	8.03	8.88	12.78	9.12	13.49	12.76	17.16	12.32					94.54
9.	トマリソ (英)	7.24	7.92	12.24	7.64	14.96	12.42	15.40	13.30					94.44
10.	デビアシ (伊)	5.72	5.28	12.88	11.02	14.44	14.26	14.96	16.10					90.66
11.	ヘデ (洪)	6.60	7.20	11.16	10.64	11.88	13.20	14.70	13.87					89.25
12.	ラウーフ (埃)	7.04	6.72	12.96	9.50	15.62	13.20	9.66	14.08					88.80
13.	ハリク・イブラヒム(埃)	6.50	5.52	7.20	9.12	15.40	14.96	15.64	14.74					88.08
14.	ニーメライネン(芬)	6.60	6.96	12.88	12.16	12.77	15.64	10.56	11.04					87.61
15.	マスターズ (濠)	7.70	8.64	9.12	13.49	12.32	11.88	9.12	14.08					86.95
16.	ライケルト (チェコ)	5.72	6.24	12.64	7.64	11.00	12.76	13.30	12.92					86.72
17.	マルタネツチ (伊)	6.60	6.96	7.92	7.98	13.64	11.96	13.64	14.08					82.78
18.	ヒドヴェジ (洪)	4.84	7.20	11.16	13.30	11.44	13.64	5.98	12.58					80.14
19.	カクル (チェコ)	7.04	7.44	11.52	7.98	12.92	8.16	11.78	13.20					80.04
20.	ツイヘル (ユーゴ)	7.60	3.36	10.44	11.40	13.20	13.30	14.26	5.72					78.28
21.	メルベリ (諸)	7.04	7.68	7.92	9.50	12.32	7.48	14.26	11.56					77.76
22.	フェラリス (伊)	7.04	7.20	4.68	9.12	12.32	13.32	13.64	10.26					77.60
23.	オエランデル (瑞)	7.04	6.00	8.28	11.78	9.24	9.66	14.72	10.12					76.84
24.	フロレス・アルボ(墨)	6.60	7.68	10.40	11.40	14.08	11.44	7.04	4.60					73.28
25.	エサンス (加)	7.04	6.24	10.80	9.88	9.52	9.90	10.40	9.28					70.06
26.	ネスヴァトバ (チェコ)	7.70	6.48	4.32	—	11.02	11.22	8.64	10.64					60.02

女子飛板飛込

	規定飛			選擇飛			總得點
	1.	2.	3.	1.	2.	3.	
1. ゲストクング (米)	12.96	13.94	15.77	16.20	14.40	16.00	89.27
2. ロールズ (米)	13.50	14.11	15.20	15.20	15.40	14.94	88.35
3. ポイントナーヒル(米)	12.62	12.92	15.20	14.00	12.24	15.40	82.36
4. ダウメルラング(獨)	9.72	13.43	14.63	13.60	13.40	13.49	78.27
5. イエンシユーヨルゲン(獨)	12.78	12.75	11.59	13.32	13.14	14.40	77.98
6. 大澤政代 (日)	11.88	8.16	14.25	13.11	13.14	13.40	73.94
7. ハイイツエ (獨)	11.88	12.41	13.30	12.24	12.06	9.60	71.49
8. 香野夫佐子 (日)	11.52	12.07	9.12	12.80	12.16	12.60	70.27
9. スレード (英)	12.24	12.41	13.30	10.44	11.16	10.40	69.95
10. アダムス (加)	9.72	10.20	11.02	11.52	13.20	11.78	67.44
11. ノルトボ (諾)	10.80	10.20	11.78	11.52	10.44	11.20	65.94
12. スタウデインゲル(澳)	9.36	11.56	12.16	11.52	10.00	11.16	65.76
13. ラーセン (英)	11.52	10.20	9.50	7.60	12.40	12.79	64.00
14. ファリゲル (スイス)	11.52	11.90	8.36	9.36	11.16	10.08	62.38
15. ブーフナー (加)	10.80	10.20	9.12	11.52	7.60	10.88	60.04
16. プアリアル (佛)	7.92	8.56	8.36	11.88	9.60	12.60	58.84

女子高飛込

	1.	2.	3.	4.	總得點
1. ポイントナーヒル(米)	7.81	8.36	9.36	8.40	33.93
2. ダン (米)	7.59	7.92	8.88	9.24	33.63
3. コエーレル (獨)	7.21	8.28	8.40	9.52	33.43
4. 大澤禮子 (日)	7.59	7.04	8.52	9.38	32.53
5. ギリツセン (米)	6.82	7.81	7.44	8.40	30.47
6. 香野夫佐子 (日)	7.04	7.04	7.20	8.96	30.24
7. ギルバート (英)	7.48	7.92	5.52	9.24	30.16
8. エーシャイト (獨)	5.72	7.26	8.52	8.40	29.90
9. シエーキスト (瑞)	5.94	7.37	7.68	8.68	29.67
10. ニルクング (瑞)	7.04	6.16	8.16	7.84	29.20
11. カツプ (獨)	6.60	7.26	6.96	7.84	28.66
12. ノルトベ (諾)	5.94	7.04	6.96	8.16	28.62
13. ヘルフイング (諾)	7.04	5.28	7.68	8.40	28.40
14. 大澤政代 (日)	4.40	7.26	7.20	9.24	28.10
15. グレーガルト (丁)	6.38	6.16	7.44	7.56	27.54
16. ラムペル (澳)	6.38	5.94	6.72	8.22	27.16
17. アンデルセン (丁)	5.72	6.60	7.20	7.56	27.08
18. ムールトン (英)	5.06	7.04	6.96	7.56	26.62
19. アダムス (加)	6.38	6.38	4.80	8.96	26.52
20. プクリール (佛)	5.72	6.60	6.24	7.00	25.56
21. スタウデインゲル(澳)	5.94	5.06	6.48	7.56	25.04
22. ブーナー (加)	5.50	5.72	7.20	5.88	24.30



最終日は第二日曜のオリム
ピックチームと今の早大軍
——南 操 監——

水 球 競 技

水球 第一次戦

勝点は勝2.引分1.負0.

〔第一群〕					勝	得	失	得	失	順位
	ベルギー	ウルガイ	オランダ	米 國	得	失	得	失		
ベルギー	●	1:0(0:0)	1:1(1:1)	4:3(3:0)	5:1	6:4	I			
ウルガイ	0:1(0:0)	●	1:1(0:1)	1:2(1:0)	1:5	2:4	IV			
オランダ	1:1(1:1)	1:1(1:0)	●	3:2(3:0)	4:2	5:4	II			
米 國	3:4(0:3)	2:1(0:1)	2:3(0:3)	●	2:4	7:8	III			
〔第二群〕					勝	得	失	得	失	順位
	ハンガリ	ユーゴスラヴ	マ ル タ	英 國	得	失	得	失		
ハンガリ	●	4:1(2:0)	12:0(8:0)	10:1(3:0)	6:0	26:2	I			
ユーゴスラヴ	1:4(0:2)	●	7:0(5:0)	3:4(3:3)	2:4	11:8	III			
マ ル タ	0:12(0:8)	0:7(0:5)	●	2:8(0:4)	0:6	2:27	IV			
英 國	1:10(0:3)	4:3(3:3)	8:2(4:0)	●	4:2	13:15	II			
〔第三群〕					勝	得	失	得	失	順位
	ド イ ツ	フ ラ ン ス	チ エ コ	日 本	得	失	得	失		
ド イ ツ	●	8:1(5:0)	6:1(4:0)	13:1(5:1)	6:0	27:3	I			

フランス	1:8(0:3)	●	3:2(1:1)	8:0(5:0)	4:2	12:10	II
チェコスロヴァキア	1:6(0:4)	2:3(1:1)	●	4:3(3:0)	2:4	7:12	III
日本	1:13(1:5)	0:8(0:5)	3:4(0:3)	●	0:6	4:25	IV

〔第四群〕

	スエーデン	オーストリア	アイルランド	スイス	勝点得失	得点得失	順位
スエーデン	●	1:2(1:1)	11:0(7:0)	6:0(4:0)	4:2	18:2	II
オーストリア	2:1(1:1)	●	6:0(3:0)	9:0(3:0)	6:0	17:1	I
アイルランド	0:11(0:7)	0:6(0:3)	●	1:7(0:3)	0:6	1:24	IV
スイス	0:6(0:4)	0:9(0:3)	7:1(3:0)	●	2:4	7:16	III

各群の第一位、第二位八場にて第二次戦二組を行ふ。

第二次戦 第一群

	ベルギー	ハンガリー	オランダ	英国	勝点得失	得点得失	順位
ベルギー	●	0:3(0:2)	1:1	6:1(3:1)	3:2	7:5	II
ハンガリー	3:0(2:0)	●	8:0(3:0)	10:1	6:0	21:4	I
オランダ	1:1	0:8(0:3)	●	4:4(3:1)	2:2	5:13	III
英国	1:6(1:3)	1:10	4:4(1:3)	●	1:4	6:20	IV

第二次戦 第二群

	ドイツ	フランス	オーストリア	スエーデン	勝点得失	得点得失	順位
ドイツ	●	8:1	3:1(2:0)	4:1(2:0)	6:0	15:3	I
フランス	1:8	●	4:2(1:2)	2:1(2:0)	4:2	7:11	II
オーストリア	1:3(0:2)	2:4(2:1)	●	2:1	2:4	5:8	III
スエーデン	1:4(0:2)	1:2	1:2(0:2)	●	0:6	3:8	IV

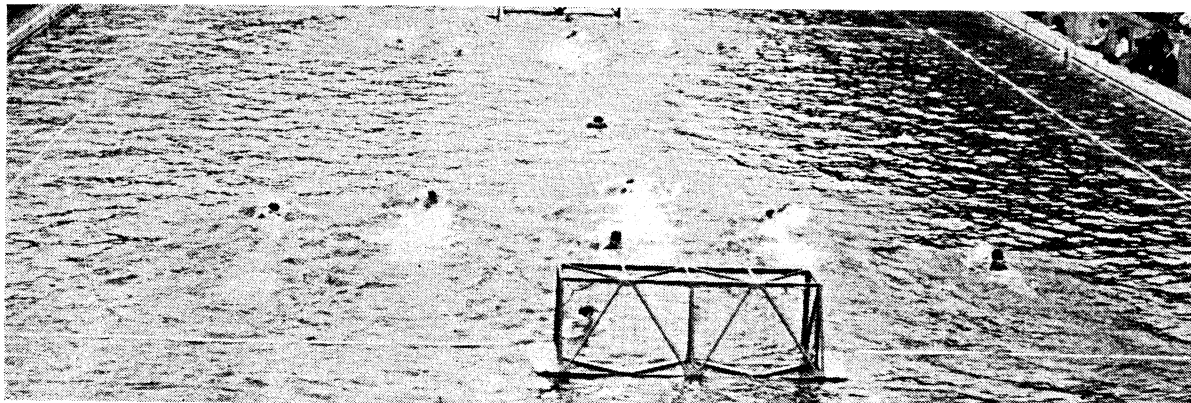
決勝戦

	ハンガリー	ベルギー	ドイツ	フランス	勝点得失	得点得失	順位
ハンガリー	●	3:0	2:2(1:1)	5:0(4:0)	5:1	10:2	I
ベルギー	0:3	●	1:4(0:3)	3:1	2:4	4:8	III
ドイツ	2:2(1:1)	4:1(3:0)	●	8:1	5:1	14:4	II
フランス	0:5(0:4)	1:3	1:8	●	0:6	2:16	IV

ハンガリーとドイツは共に勝点5、勝点率5:1の同位なるが得点率が10:2に對する14:4にてハンガリー優勝と決定した。

第五位以下順位決定戦

	オランダ	英国	オーストリア	スエーデン	勝点得失	得点得失	順位
オランダ	●	4:4	5:4(2:3)	4:3(2:2)	5:1	13:11	V
英国	4:4	●	3:3(2:1)	2:4(1:2)	2:4	9:11	VIII
オーストリア	4:5(3:2)	3:3(1:2)	●	2:1	3:3	9:9	IX
スエーデン	3:4(2:2)	4:2(2:1)	1:2	●	2:4	8:8	XI



オリンピック最終繰返に於ける水球

戦績に対する感想

宮畑虎彦

一、「實力伯仲の時は必ず勝つ。」日本の水泳に関する限り私は確信して居ます。最後まで苦しい中をよく切り抜けて優勝して下さった事を衷心感謝して居ます。

二、大會前の練習が少しあせり過ぎて居なかつた？ 事情はよく推察出来ますが、要は大會の時よい成績を出す爲の練習です。どんな時でもあせらない精神が王者たるものには大切と思ひます。

三、大會の後、あまり競技が多過ぎるのは選手に氣の毒です。

四、人も羨む日本水聯にも統制のとれない事があつた様に見えたのは遺憾でした。役員も補缺選手も一人一人が優勝候補である様な自重を望みたいものです。妄言多謝

竹林隆二

只、「皆元氣で各自、自分の責任を完ふして呉れて有難かつた、よくやつて呉れました」と其の昔出場した事を想ひ起して感じて居ります。

選手と役員的一致に依つて常に最大の効果を現すものであることを田舎の學校に居て感じて居ります。

堀江耕造

試合前のコンディションの作り方につき往々無責任と思はれるやうな批評を讀んだり、聽いたりするが、責任者の話しを聽いてみたい。

○100米の思はぬ不覺が、800米リレー、其の他の種目に與へた精神的影響は實に大きかつた。第十回の時とは反對の意味で、

○400米の對策の必要、技術的にも、精神的にも、

齋藤兼吉

日本の水泳がオリンピックへの出發前記録が悪いので誰も制覇に對して懸念した様でした、私も其の内の一人ですが、時任君が次の様な事を云はれたので私は可なり安心致した様なわけでした「松澤君は選手のコンディションを整へるに驚くべき手腕を持つて居るから今度も勝つてせう・・・」私はこの豫言めいた確信を多少興味を持って觀て居ました。果せる哉、レース前に洵に立派な記録を出しました。然し選手のベストコンディションが少し早過ぎたのではないかと思ひます。此の事に就ては滿洲あたりまでも齋藤君が松澤君に随分喰つてかゝつた、と云ふ風な噂も立つて居まして、齋藤君等憤慨して居るなら、デマが飛んで居ますが、水泳界には其んなゴタゴタは起きない様に、濟んだ事は致し方が無いからあつさり水に流すがよいと思ふ、女子の方の進歩、ダイビングの進境は目覺ましいがウオタボロは洵に不成績の様であつたが不思議です。もつと強くてよい筈、將來は水泳全種目（選手權）を通じて制覇して欲しい。

村井 清

第十一回伯林大會に於いてよく今回の成績を收められた役員選手の方々に對し滿腔の感謝と敬意を表します。早速次を期待する事は一寸おかしな事かも知れませんが來るべき東京大會には競泳、水球、飛込足並揃へて今回の成績に今一步を進むべく共心協力又明日から斯道に精進したいものと念じて居ります。

足立祐次

遠く伯林に外征して水泳日本の榮譽を確守された選手役員諸氏の努力奮闘に對して誠に感謝の外ありません。また優れたる日本及日本人の存在を世界に確認せしめられたる我等の水泳代表の長所に對して深珍なる謝意を表するものであります。我等はこの水泳日本の榮光を祝福すると同時に來るべき東京大會に於て斷然優位を占むる爲めに、速刻『更に、偉大なるピラミットの建設に』邁進しなければならぬ事を痛感する次第であります。

昭和十一年度 日本競泳選手権大會 オリンピック最終豫選會

〔第一日〕5月29、30、31日の三日間にわたつて愈々オリンピック大會の最終豫選が開かれることになつた。第一日は降り續けた雨も奇蹟的に晴れて、神宮水泳場は早くも、オリンピック豫選の氣分溢り、午後2時女子飛込が始まり、續いて男子1500米の豫選、男子200米の豫選が行はれた。3時45分からの男子の飛込みがあつて第一日は終る。

〔第二日〕30日は午後1時30分より女子100米の自由形より始められ、次に男子200米、1500米の二つの決勝が行はれ、田口と、鶴藤が本年度の選手権を獲得することになつた。他に200米平泳100米背泳等の豫選が行はれ、5時男子400米の豫選で第二日のプログラムを終了。

〔第三日〕最終日31日は雨は降り、風さえ加つて、氣温17度水温18度半、最悪のコンディションである。試合は100米の準決勝より始まり、女子100米で古田

嬢選手権を獲得し、男子背泳に兒島、女子平泳に前畑嬢、400米に鶴藤、女子背泳は泉嬢、200米の平泳に葉室、女子400に守岡嬢、男子100米に遊佐選手、それぞれ本年度の選手権を獲得。尙飛込に男子は柴原、女子は大澤禮子嬢が高飛込競技に優勝、水球も早大とオリンピック候補との試合で9對0で候補チームが優勝するところとなつた。

〔代表選手の決定〕

31日午後5時半より神宮水泳場の會議室で代表選手銓衡委員會が開かれ、次の如く決定された。

日本代表選手銓衡委員

	委員長	末弘嚴太郎			
競 泳	堀江 耕造	藤井正太郎	藤 田 明		
	飯田光太郎	石本巳四雄	小林 榮三		
	松浦 武雄	松澤 一鶴	松澤 初穂		

代 表 選 手 及 主 將

<p>男子競泳 自由形</p> <p>遊佐 正憲(日) 田口 正治(立) 新井 茂雄(立)</p> <p>杉浦 重雄(早) 新聞 六炳(早) 根上 博(立)</p> <p>宮崎 康二(慶) 鶴岡 榮(立) 牧野 正藏(早)</p> <p>鶴藤 俊平(立) 寺田 登(慶) 石原田 愿(明)</p> <p>田中 一男(早) 永見 達明(早) 本田惣一郎(立)</p> <p>平 泳</p> <p>小池 禮三(慶) 葉室 鐵夫(日) 伊藤 三郎(明)</p> <p>背 泳</p> <p>兒島 泰彦(慶) 明 文一(日立) 吉田 喜一(早)</p> <p>清川 正二(商OB)</p> <p>女子競泳 自由形</p> <p>古田つね子(中) 小島カズエ(楢) 守岡ハツ子(茨)</p> <p>竹村 令(京) 松村 昶子(山)</p> <p>平 泳</p>	<p>前畑ヒデ子(楢) 壺井宇乃子(女體専)</p> <p>飛 込</p> <p>男子 柴原 恒雄(日) 小柳 富男(早)</p> <p>女子 香野夫佐子(西宮) 大澤 禮子(美津濃)</p> <p>大澤 政代(三省堂)</p> <p>水 球</p> <p>阪上安太郎(早O) 高橋善次郎(早O) 若山 瀧美(早)</p> <p>勝久 重隆(早O) 高木 茂雄(早) 前田 倍三(早)</p> <p>片岡寅次郎(早) 古莊 次平(早) 和田 幸一(慶)</p> <p>高橋 三郎(慶) 田野 耕清(立)</p> <p>主將 水上チーム兼競泳 主將 清川正一</p> <p>女子競泳 主 將 前畑ヒデ子</p> <p>飛 込 男子主將 柴原 恒雄</p> <p>飛 込 女子主將 大澤 政代</p> <p>水 球 主 將 阪上安太郎</p>
--	---

深山 杲 本井 功 中村 豊
 根來 幸成 西本 龍三 野田 一雄
 野村 憲夫 奥野 良 齋藤 巍洋
 白山源三郎 白山 廣子 杉本 傳
 田畑 政治 高石 勝男 渡邊寛二郎
 飛込 原 秀夫 飯田光太郎 小林 一男
 松澤 一鶴 水谷 泰夫 島崎 保正
 杉本 傳 田畑 政治 高橋庄之助
 高階富士夫
 水球 土井 修爾 廣瀬 秀俊 藤田 明
 木島小彌太 松本 隆重 松澤 一鶴
 三橋 達郎 村井 清 岡田 辰雄
 坂倉 隆吉 笹島彦次郎 田畑 政治
 吉本 祐一

男子1500米自由形

豫選

- A 1. 永見 達明 (早大) 20:06.4
 2. 本田 惣一郎 (立大) 20:09.0
 3. 牧野 正藏 (早大) 20:18.6
 4. 河野 隼 (明大) 20:22.0
 B 1. 石原 田愿 (明大) 19:42.8
 2. 寺田 登 (慶大) 19:52.4
 3. 鶴藤 俊平 (立大) 20:14.6
 4. 田中英 作 (早大) 20:25.0

決勝

1. 鶴藤 俊平 (立大) 9:45.6
 2. 石原 田愿 (明大) 19:45.6
 3. 寺田 登 (慶大) 19:46.2

途中時間

100米	本田	1:09.8	800米	鶴藤	10:36.6
200米	牧野	2:27.4	900米	"	11:50.0
300米	"	3:45.8	1000米	石原田	13:11.2
400米	"	5:06.0	1100米	"	14:30.8
500米	"	6:27.0	1200米	"	15:51.0
600米	"	7:48.8	1300米	"	17:11.6
700米	"	9:10.0	1400米	"	18:30.8

男子200米自由形

豫選

- A 1. 新井 茂雄 (立大) 2:15.2
 2. 遊佐 正憲 (日大) 2:18.6
 3. 田中 一男 (早大) 2:19.0
 4. 市野 重治 (立大) 2:15.6
 B 1. 田口 正治 (立大) 2:15.6
 2. 杉浦 重雄 (早大) 2:16.2
 3. 新聞 六炳 (早大) 2:17.0
 4. 鶴岡 榮 (立大) 2:20.2

決勝

1. 田口 正治 (立大) 2:14.8
 2. 新井 茂雄 (立大) 2:15.6
 3. 杉浦 重雄 (早大) 2:16.0

男子100米背泳

豫選

- A 1. 兒島 泰彦 (慶大) 1:09.8
 2. 河津 憲太郎 (明大) 1:13.0
 3. 秋吉 龍二 (日大) 1:13.8
 4. 谷口 辰三 (早大) 1:13.8
 B 1. 清川 正二 (商大OB) 1:11.0
 2. 明文 一 (日大) 1:11.2
 3. 吉田 喜一 (早大) 1:11.4
 4. 山田 薫 (明大) 1:13.2

決勝

1. 兒島 泰彦 (慶大) 1:10.2
 2. 明文 一 (日大) 1:11.2
 3. 清川 正二 (商大OB) 1:11.4

明飛び出して五十まで先頭をきり、70頃まで首位を占めてゐたが約半米位遅れてゐた兒島、清川、よく追つて次第にその差をつめ、吉田これと並んでゐたが追ひきれず、兒島は90邊で明を抜き、その儘ゴール、吉田は遂に等外に落ちた。

男子200米平泳

豫選

- A 1. 小池 禮三 (慶大) 2:43.2
 2. 野田 務 (明大) 2:48.6
 3. 山口 正保 (明治商) 2:49.0
 4. 柳澤 榮三郎 (法大) 2:52.0
 B 1. 葉室 鐵夫 (日大) 2:44.2
 2. 伊藤 三郎 (明大) 2:46.4
 3. 長久 俊三 (慶大) 2:49.8
 4. 林田 睦夫 (日大) 2:51.4

決勝

1. 葉室 鐵夫 (日大) 2:43.4
 2. 小池 禮三 (慶大) 2:45.8
 3. 伊藤 三郎 (明大) 2:47.4

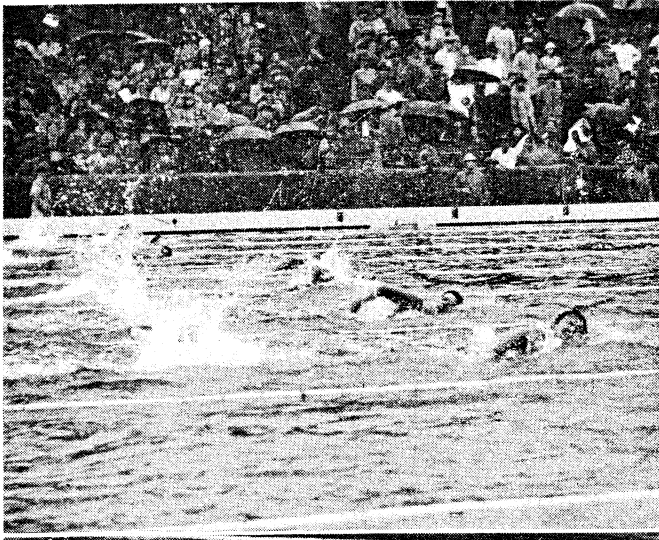
葉室は25米で僅に出で、小池これに續き、伊藤も亦小池を追ふ、50では葉室に續いて小池、伊藤同時に引返し、後半に入つて葉室よく伸び約1米の差を以てトップを切る。小池、伊藤の差は約半米、野田これを追ふ、150で葉室は約2米差をひらき、小池よく追つたが及ばず、更に約3米の差で葉室遂に勝つ、

男子100米自由形 豫選

- A 1. 新井 茂雄 (立大) 59.2
 2. 杉浦 重雄 (早大) 1:00.6

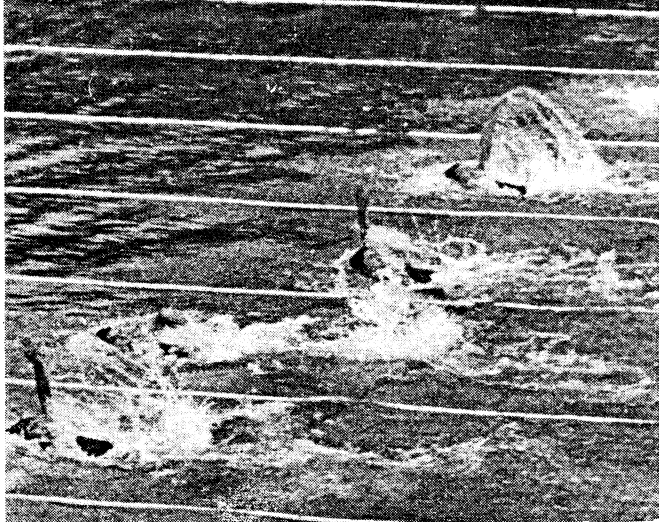
- (4) 4500米決勝のゴール前寺田 9. 鶴藤 8. の接戦
 (5) 100米決勝 3. 遊佐・杉浦・鶴岡・長谷川・田口 荒井の順
 (6) 小池と兼室 ——いづれも三浦氏撮影——

1) 雨中の400米
 決勝コースより
 田中・寺田
 鶴藤・根上・牧
 野・永見・新
 間・田中一男

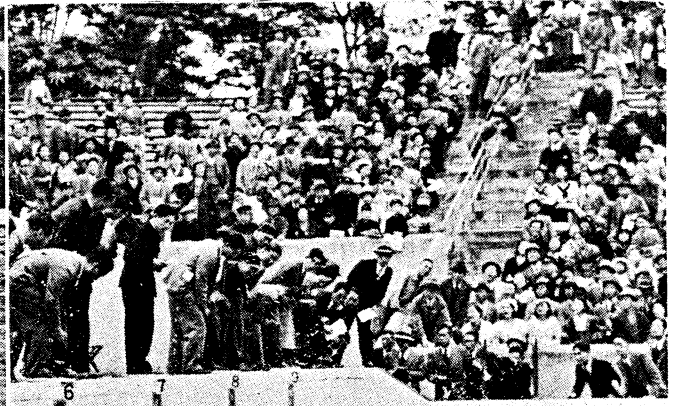


● 三浦撮影 ●

2) 百背泳豫選
 B組(3)コ
 ースより門屋
 明・吉田・清
 川・山田の順



● 南 撮影 ●



3) 選手権保持者
 兼室・遊佐・田
 口・兒島・下
 前畑・古田・泉



● 池田 清 ●



3. 長谷川 卯佐美 (高松高商) 1:01.0
 4. 林 田 義 人 (同 大) 1:02.0
 B 1. 遊 佐 正 憲 (日 大) 58.4
 2. 宮 崎 康 二 (慶 大) 1:01.0
 3. 鶴 岡 榮 (立 大) 1:01.4
 4. 横 山 隆 志 (早 大) 1:02.2
 C 1. 田 口 正 治 (立 大) 59.4
 2. 井 上 茂 (國 大) 1:00.8
 3. 五十嵐 伊市郎 (早 大) 1:02.0
 4. 杉 本 盛 (日 大) 1:02.6

準決勝

- A 1. 遊 佐 正 憲 (日 大) 58.0
 2. 田 口 正 治 (立 大) 59.2
 3. 長谷川 卯佐美 (高松高商) 1:00.2
 B 1. 新 井 茂 雄 (立 大) 59.0
 2. 杉 浦 重 雄 (早 大) 1:01.6
 3. 鶴 岡 榮 (立 大) 1:01.6

決 勝

1. 遊 佐 正 憲 (日 大) 57.8
 2. 新 井 茂 雄 (立 大) 58.4
 3. 田 口 正 治 (立 大) 60.0

遊佐³コース田口、新井が⁷、⁸コースで田口よくスタートし、50では遊佐すこし早く田口、新井は殆んど同時に引返し、以下長谷川、鶴岡、杉浦の順、田口、新井は烈しく競りながら遊佐を追つたが田口は90邊で新井に離され、遊佐、新井、田口の順でゴールイン、長谷川よく追つたが⁴着となり杉浦は鶴岡を抜いて⁵着となつた。

男子400米自由形

豫 選

- A 1. 鶴 藤 俊 平 (立 大) 4:53.8
 2. 寺 田 登 (慶 大) 4:58.6
 3. 牧 野 正 藏 (早 大) 5:02.4
 4. 永 見 達 明 (早 大) 5:02.8
 B 1. 根 上 博 (立大OB) 4:56.6
 2. 田 中 一 男 (早 大) 4:57.8
 3. 新 間 六 炳 (早 大) 5:06.4
 4. 田 中 英 作 (早 大) 5:06.8

決 勝

1. 鶴 藤 俊 平 (立 大) 4:54.4
 2. 寺 田 登 (慶 大) 4:55.2
 3. 根 上 博 (立 大) 4:55.6

100は根上、寺田、鶴藤、牧野、田中一の順で150は依然根上を先頭としてゐるが二位以下は牧野のスパートによつて牧野、寺田、鶴藤となる、200で牧野トツプを奪ひ、根上、鶴藤、これに續き根上、牧野

は激しい競り合ひをつづけ鶴藤、寺田並んで競る、30では寺田先頭、350は寺田、鶴藤、根上、牧野の順でタッチの差を以て猛烈に争ひ、ラストに入る。370を過ぎて鶴藤のスパートは遂に首位を奪ひ、永見も出たが空しく結局鶴藤約1米を離し、寺田、根上、牧野の順位。

女子100米自由形

豫 選

- A 1. 小 島 カズエ (椋山女) 1:15.2
 2. 竹 村 令 (京一女) 1:16.6
 3. 櫻 井 愛 (京二條) 1:17.8
 4. 福 島 ヒロ子 (東府四) 1:19.0
 B 1. 古 田 つね子 (中泉女) 1:13.8日本新
 2. 守 岡 ハツ子 (茨 木) 1:16.2
 3. 松 村 昶 子 (山口女) 1:16.8
 4. 谷 口 美 代 子 (京二條) 1:19.0

決 勝

1. 古 田 つね子 (中泉女) 1:14.2日本新
 2. 小 島 カズエ (椋山女) 1:14.2日本新
 3. 守 岡 ハツ子 (茨 木) 1:16.2

スタートから古田出て50のターン僅かに早く、小島これに續く、80邊から小島ラストスパートして古田と約1米差をつめ、古田タッチ僅かに早く順位を決定した。

女子200米平泳

豫 選

- A 1. 壺 井 宇 乃 子 (女體専) 3:16.0
 2. 原 日 出 子 (東府四) 3:28.0
 3. 眞 下 京 子 (京二條) 3:33.6
 B 1. 前 畑 ヒデ子 (椋山女) 3:05.6
 2. 村 尾 充 子 (長崎女) 3:19.8
 3. 村 田 三 千 子 (羽衣女) 3:33.4

決 勝

1. 前 畑 ヒデ子 (椋山女) 3:05.4
 2. 壺 井 宇 乃 子 (女體専) 3:17.0
 3. 村 尾 充 子 (長崎女) 3:20.8

前畑群を抜き、壺井、村尾これにつづき結局約11米の差で前畑、壺井の順、村尾は約3米遅れて3着

女子400米自由形

豫 選

- A 1. 守 岡 ハツ子 (茨 木) 5:57.8
 2. 須 藤 光 代 (横濱女) 6:24.4
 3. 古 閑 久 子 (中京女) 6:28.2
 B 1. 古 田 つね子 (中泉女) 6:17.2
 2. 福 島 ヒロ子 (東府四) 6:22.6
 3. 三 浦 ハ ナ (横濱女) 6:25.2

決勝

1. 守岡ハツ子 (茨木) 5:58.4
2. 古田つね子 (中泉女) 6:15.0
3. 福島ヒロ子 (東府四) 6:17.4

女子100米背泳

決勝

1. 泉百合子 (京府二) 1:29.8
2. 北島静子 (楯山女) 1:31.4
3. 小田アイ (筑紫女) 1:33.2

水上豫選評 (松澤コーチの談より)

時期から見ても最近の不良な天候からしても記録的の収穫を望む事は無理である。この最終豫選は強

力陣を布く上の人選が目的であつて今度の記録的の収穫に乏しくあつたとしても悲観するにはあたらない。三日間を通じて新人の躍進が目立つてゐる。これはロサンゼルス以来われらの待望してゐたところのものである。今後氣候に恵まれ、練習に恵まれ、古い一流選手達も不調から脱するであらうからこれによつて新人の仕上げも出来る。アメリカのインドア・シーズンの収穫に比して優れてゐると思つてゐる。要するにこの結果に徴し背泳に一抹の寂しさは感じるが、全體的にはベルリン大會は接戦を豫想されても聊の不安も感じない。

男子飛板飛込

順位	氏名	所屬		1	2	3	4	5	計
1	柴原恒雄 (日大)	規定飛 選擇飛		12.24	12.58	14.82	13.12	11.88	64.64
				16.38	14.70	16.10	17.22	17.02	46.06
2	小柳富男 (早大)			12.96	12.58	9.88	12.80	13.32	61.54
				15.96	14.28	13.20	12.80	14.40	32.18
3	片岡弘吉 (慶大)			12.96	9.86	10.26	9.28	9.36	51.72
				8.82	12.00	11.88	11.60	11.40	107.42
4	生江哲太郎 (三省堂)			10.44	12.24	10.26	6.40	12.60	51.94
				13.64	7.60	14.00	11.40	7.98	106.56
5	瓶子喜己 (早大)			11.52	10.88	9.50	7.04	7.20	46.14
				11.52	13.20	12.80	10.40	10.40	104.46
6	石川金繼 (明大)			10.44	10.88	12.16	8.96	3.60	46.04
				7.98	8.40	12.00	13.20	15.18	102.80
7	毛利元英 (日大)			10.44	7.14	12.54	10.88	12.24	53.24
				8.40	10.08	8.36	10.40	8.36	98.84
8	杉原雪夫 (慶大)			7.20	8.84	12.16	8.96	11.16	48.32
				6.30	10.50	10.12	10.00	11.40	96.64

男子高飛込

順位	氏名	所屬		1	2	3	4	計
1	柴原恒雄 (日大)	規定飛 選擇飛		6.60	5.52	14.40	15.20	41.72
				15.40	16.28	11.96	16.56	101.92
2	細谷幸四郎 (日大)			6.60	7.20	10.44	7.98	32.22
				9.92	8.16	14.52	11.40	76.22
3	伊藤真吉 (慶大)			6.60	7.20	11.52	11.78	39.10
				8.80	9.12	7.22	7.48	69.72
4	林慶二郎 (明大)			6.82	8.60	12.60	5.32	33.14
				13.20	1.14	7.98	11.40	66.86
5	杉原雪夫 (慶大)			6.60	7.92	10.80	7.22	32.54
				10.56	6.60	7.82	5.32	62.82
6	原酉三 (無所屬)			7.48	7.68	10.44	12.16	37.76
				8.80	0.00	10.26	5.76	62.58
7	山田謙二郎 (早大)			3.96	4.80	10.08	7.22	26.06
				8.00	9.50	10.56	7.14	61.26
8	漆山順 (慶大)			5.28	6.72	6.12	8.36	26.48
				8.00	8.74	7.93	4.94	56.14

女子飛板飛込

順位	氏名	所屬	規定飛	計	選擇飛	計
1	香野夫佐子 (無所屬)		11.88	13.94 14.82 40.80	12.60 10.00 11.52	74.76

2	大澤政代 (F.D.C)	11.52	9.86	14.06	35.44	12.96	11.02	14.80	74.22
3	横山周子 (樟蔭女專)	10.44	9.52	11.02	30.98	11.88	9.72	11.52	64.10

女子高飛込

順位	氏名	所屬							
1	大澤禮子	(美津濃)	8.14	8.80	9.60	8.90			35.50
2	香野夫佐子	(無所屬)	7.04	7.92	7.44	9.52			31.92
3	林悦子	(無所屬)	7.70	6.82	5.52	7.56			27.60
4	大澤政代	(F.D.C.)	6.60	7.04	5.52	7.28			26.44
5	鎌倉悦子	(日本生命)	7.70	4.18	4.80	8.40			25.08
6	山路明子	(無所屬)	6.38	5.28	4.56	8.12			24.34
7	横山周子	(樟蔭女專)	5.94	7.26	3.84	7.28			23.32

戦績に対する感想 2

川口 又男

1. 役員選手共に記録第一の歡念にとらはれ過ぎ思はぬ不覺を取りたるものと存候
1. ジャーナリズムは利用すべきもの利用せらるべきものにあらざと痛感仕候
1. 競泳は實力以下の成績を女子、飛込、水球は豫期以上の成績を擧げたるは背後に何等か精神的影響あるものと暗示せられ候

辻 富士夫

飛込の成績では僕など欲深く男女共三等以内の入賞を期待してゐましたが四位を二つも占め得たことは過去の歴史から見て順當すぎる躍進振りで此の分で行くと次回の優勝が楽しみにまたれます、今度でも柴原級、大澤級の選手が各種目に三人揃つてゐれば米陣と對當の試合が出来た筈です。從來の跛行的とも言へた水上制覇が飛込陣の充實によつて全面的な制覇に近づきつゝあることはまことに喜ばしい傾向であります。

武村 清

水の再征覇成り水泳日本の王座確固たらしめた今日、唯々喜び、感激があるのみである。而して大會は終り過去の事項と成つた。昨日で大會の幕が閉された、今日では早四年後の備へに全力を注がねばならぬ。今日ある喜びは苦闘の末、ようやく活路を見出した。辛勝した辛くも榮えある王座を保ち得た喜びである。無敵を誇る吾水泳軍が何故かくまで苦闘しなければならなかつたか、守る弱味、米軍の強硬な追撃、又ジャーナリストの誇張せる宣傳に依り社會一般人の期待の大きかつた事等々數多くあるが而し。羅府以來の米軍の追撃は當然である又強硬なる

攻撃は最大なる防禦であると言ふ本則を考へると、餘りにも選手一同の觀念が保守的の様であつたと思ふ。王座確保と言ふ觀念が相當吾水泳軍に意識されてゐたのであらう。ジャーナリストの宣傳も決して誇張の二字で片づける事は出来ない。宣傳の一大原因はやはり選手自身の實力も宣傳誇張してなほ且世界王座に樂々と就けるだけの力があつたからである。以上の事項のみ考へても最後の原因は、選手自身と監督とコーチとの關係になると思う。今度の大會が最悪は時とは云へないが少くとも調子の線の下り途中であつた事は事實である。選手自身も大選手たる者が自己の調子を知らない事は無いと思う又定められた大會に對しての自己の豫定表の作れない事もあるまい。監督コーチも亦選手の調子の線を短期間に知り且、まちまちの數多い此の線の山を一致させるのが其の最大の義務である、オンリーである。要するに注意をするのではない。いやしくも名監督たる者に又名選手たる者に何んで其の様なる意見がましい事が出来よう。唯、先般の羅府の大會と今回の伯林の大會の其の戦績を比較して見て進んで次回東京に於ける大會を豫想し見るにいさゝか不安が無いものでもない。絶對的に勝利を得んが爲めには、他に超越した絶對的強力な實力を養成しなければならぬ。吾が最悪なる調子實力を以てしてもなほ克彼の最上の調子實力に打勝つだけの自信と實力がなければならぬ。今日以後吾水泳界は擧げて實力養成に勉めるべきである。過去の戦績を書き其の喜びにひたるのは吾々水泳人のする事では無い。過去の事項は未來の爲に好き参考とすべきである。今回の大會の經過戦績により感じた事は未來に對しての不安の二字である。亂文にて失禮。

第三次豫選東部大會

5月23.24日
神宮水泳場

男子400米自由形

豫選

- A 1. 田中 一男(早大) 4:57.8
2. 河野 隼(明大) 5:10.0
3. 佐々木 猛(日大) 5:14.0
B 1. 永見 達明(早大) 5:03.2
2. 田中 英作(早大) 5:06.6
3. 藤田 貞男(法大) 5:09.4

決勝

1. 田中 一男(早大) 4:57.6
2. 永見 達明(早大) 4:58.6
3. 田中 英作(早大) 5:05.8

男子100米背泳

豫選

- A 1. 秋吉 龍二(日大) 1:14.6
2. 坂本 响(立大) 1:14.6
3. 桑野 正實(日大) 1:18.0
B 1. 谷口 利弘(日大) 1:14.0
2. 門屋 桂(立大) 1:14.8
3. 倉上 義雄(立大) 1:17.4

決勝

1. 谷口 利弘(日大) 1:13.8
2. 門屋 桂(立大) 1:14.0
3. 秋吉 龍二(日大) 1:14.8

男子100米自由形

豫選

- A 1. 横山 隆志(早大) 1:02.0
2. 須永 安治(日大工業) 1:03.2
3. 大崎 定兼(立大) 1:03.6
B 1. 杉本 盛(日大) 1:02.4
2. 門井喜太郎(日大工業) 1:03.2
3. 近藤 進(立大) 1:04.2

決勝

1. 横山 隆志(早大) 1:02.4
2. 大崎 定兼(立大) 1:03.0
3. 杉本 盛(日大) 1:03.0

男子200米平泳

豫選

- A 1. 田口 實(日大) 2:56.8
2. 葉室 貞男(福岡商業) 2:58.2
3. 大本 昌彦(早大) 2:58.2
B 1. 林田 睦夫(日大) 2:53.6
2. 高島 秋介(慶大) 2:55.2
3. 仲村渠盛榮(明大) 2:58.6

決勝

1. 林田 睦夫(日大) 2:55.6
2. 高島 秋介(慶大) 2:56.6
3. 田口 實(日大) 2:58.6

男子200米自由形

豫選

- A 1. 佐々木 猛(日大) 2:20.2
2. 横山 隆志(早大) 2:21.2
3. 杉本 盛(日大) 2:22.2
B 1. 田中 一男(早大) 2:20.2
2. 須永 安治(日大工業) 2:28.4
3. 原口 進吉(國大) 2:41.0

決勝

1. 田中 一男(早大) 2:19.8
2. 佐々木 猛(日大) 2:20.6
3. 杉本 盛(日大) 2:21.6

女子100米自由形

豫選

1. 須藤 光代(横濱水協) 1:19.6
2. 三浦 ハナ(横濱高女) 1:20.0
3. 鈴木美代子(愛知淑徳) 1:23.6
B 1. 小島 一枝(椋山女學) 1:15.0
2. 福島ヒロ子(府立四女) 1:17.0
3. 古閑 久子(中京高女) 1:20.4

決勝

1. 小島 一枝(椋山女學) 1:15.0
2. 福島ヒロ子(府立四女) 1:18.2
3. 古閑 久子(中京高女) 1:20.6

男子100米自由形

決勝

1. 永見 達明(早大) 20:12.6
2. 河野 隼(明大) 20:33.8
3. 田中 英作(早大) 20:45.4

女子400米自由形

決勝

1. 福島ヒロ子(府立四女) 6:23.2
2. 須藤 光代(横濱水泳) 6:23.2
3. 三浦 ハナ(横山高女) 6:28.8

女子100米背泳

決勝

1. 鈴木美代子(愛知淑徳) 1:41.8

女子200米平泳

決勝

1. 前畑 秀子(椋山女學) 3:07.4
2. 壺井字乃子(日本體專) 3:14.6
3. 原 日出子(府立四女) 3:27.0

第三次豫選大阪大會

5月24日 寶塚水泳場

男子400米自由形

豫選

- A 1. 浅野 智靖(岐阜商) 5:25.2
2. 服部巳代治(關大) 5:37.2
3. 夫馬 友春(岐阜藥專) 4:38.2
B 1. 寺石 延也(高松高商) 5:17.4
2. 竹内 定夫(東邦商) 5:26.4
3. 岩田 務(岐阜商) 5:29.6

決勝

- A 1. 寺石 延也(高松高商) 5:11.4
2. 浅野 智靖(岐阜商) 5:15.2
3. 岩田 務(岐阜商) 5:24.2

男子100米自由形

豫選

- A 1. 串田 正夫(關學) 1:03.4
2. 小林 政夫(岐阜藥專) 1:03.6
3. 伊藤 進(金鯉俱) 1:03.8
B 1. 木下 善一(大阪ナタ) 1:02.2
2. 林田 義人(同大) 1:03.8
3. 大井 健司(關學) 1:04.2

決勝

1. 木下 善一(大阪ナタ) 1:01.8
2. 小林 政夫(岐阜藥專) 1:02.6
3. 林田 義人(同大) 1:02.8

男子100米背泳

豫選

- A 1. 宮田 大鳳(岐阜藥專) 1:18.4
2. 成住 壽一(關學) 1:19.8
3. 中西長兵衛(關大) 1:20.8
B 1. 大宮 敏男(岐阜藥專) 1:16.0
2. 山田 鋼(關大) 1:21.4
3. 眞矢 進(關學) 1:22.0

決勝

1. 大宮 敏男(岐阜藥專) 1:15.4
2. 宮田 大鳳(岐阜藥專) 1:17.8
3. 成住 壽一(關學) 1:18.6

男子200米平泳

豫選

- A 1. 大崎卯藤久(關學) 2:58.2
2. 栗本 巖(岐阜藥專) 2:58.6
3. 佐伯 武男(高松高商) 3:03.8
B 1. 中川 重雄(振甫俱) 2:59.4
2. 井口健三郎(都島工) 3:10.0
3. 有井 正次(關大) 3:14.2

日・立・明・三大學對抗水上競技大會

6月6日 明治神宮外苑水泳場

水溫 20度

氣溫 21度

300米メドレー・リレー

1. 日大 3:26.6 大會新記録
秋吉 龍二 葉室 鐵夫 遊佐 正憲
2. 明大 3:31.0
河津憲太郎 伊藤 三郎 片山 兼吉
3. 立大 3:34.2
門屋 桂 杉浦 重雄 新井 茂雄

1. 谷口 利弘 日大 大會新 1:12.8
2. 河津憲太郎 明大 大會新 1:13.0
3. 山田 薫 明大 1:13.4

1. 鶴藤 俊平 立大 大會新 4:48.2
2. 石原田 愿 明大 4:59.6
3. 本田惣一郎 立大 5:01.2

200米自由形

1. 新井 茂雄 立大 大會新 2:15.0
2. 田口 正治 立大 大會新 2:15.2
3. 遊佐 正憲 日大 大會新 2:16.0

100米自由形

1. 新井 茂雄 立大 大會新 0:58.2
2. 遊佐 正憲 日大 0:58.6
3. 田口 正治 立大 0:59.6

800米自由形

1. 鶴藤 俊平 立大 大會新 10:04.6
2. 石原田 愿 明大 10:21.6
3. 本田惣一郎 立大 10:22.4

200米平泳

1. 葉室 鐵夫 日大 2:45.4
2. 伊藤 三郎 明大 2:48.0
3. 野田 務 明大 2:50.8

800米リレー

1. 日大 9:43.4
佐々木 木村 藤本 遊佐
2. 明大 9:56.8
大野 山田 大西 石原田

100米背泳

400米自由形

決勝

1. 大崎卯藤久(關 學) 2:56.6
2. 中川 重雄(振甫俱) 2:57.2
3. 栗本 巖(岐阜薬専) 2:58.2

3. 小林 政夫(岐阜薬専) 2:28.4
- 決勝
1. 林田 義人(同 大) 2:23.6
2. 浅野 智靖(岐阜商) 2:24.4
3. 服部己代治(關 大) 2:27.4

決勝

1. 北島 静子(椋山女學) 1:30.2
2. 山崎いく子(愛知一女) 1:34.4
3. 山田 アイ(筑紫高女) 1:34.6

女子100米自由形

豫選

- A 1. 森 ヒサエ(大村高出) 1:22.0
2. 大井 房(夕陽丘女) 1:25.2
3. 伊藤 喜代(京都一女) 1:28.4
- B 1. 松村 昶子(山口高女) 1:18.6
2. 木村 繁子(椋山女學) 1:22.4
3. 湯本 信子(苦津女學) 1:27.2

決勝

1. 松村 昶子(山口高女) 1:18.0
2. 森 ヒサエ(大村高出) 1:22.2
3. 木村 繁子(椋山女學) 1:22.8

男子200米自由形

豫選

- A 1. 浅野 智靖(岐阜商) 2:27.4
2. 壺田 重三(同 大) 2:28.0
3. 服部己代治(關 大) 2:28.8
- B 1. 林田 義人(同 大) 2:25.8
2. 串田 正夫(關 學) 2:27.6

男子1500米自由形

決勝

1. 寺石 延也(高松高商) 21:12.4
2. 竹内 定夫(東邦商) 21:43.2
3. 岩田 務(岐阜商) 22:11.8

女子400米自由形

決勝

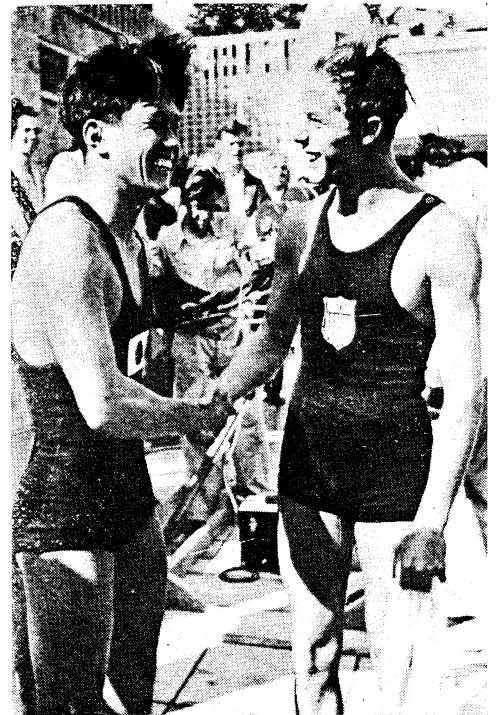
1. 湯本 信子(苦津女學) 6:58.8
2. 宮崎 和子(市岡高女) 6:59.6
3. 小西真知子(京都一女) 7:00.4

女子200米平泳

決勝

1. 林田三千子(羽衣高女) 3:36.2
2. 金ヶ原俊子(筑紫高女) 3:39.8
3. 高橋 富志(西宮高女) 3:42.6

女子100米背泳



● 柴原選手と デゲナー ●

早慶戦を観る

松浦武雄

毎年水泳シーズンの劈頭を飾る早慶の水上競技も本年度其第十回を迎へて、来る年と共に兩校の競技の記録の上に亦其實質的に技倆の伯仲して行くのは争へない事實であつて、殊に本年は新人のナンバーワンの慶大兒島早大に杉浦、吉田の出場は、此對抗レースの上に一入の偉觀を呈した。

今夏ベルリンへ、水の世界征覇に向つた我水上日本の精銳、競泳選手二十二人中其半数は此早慶の中より選ばれて居り、即ち水の超特急牧野(早大)寺田(慶大)小池(慶大)兒島(慶大)新聞(早大)杉浦(早大)田中一(早大)永見(早大)吉田(早大)宮崎(慶大)等を網羅し之を通じて何ふも我國對抗レースの最大にしてかつ競技をほこる歴史と傳統は、流石に早慶の名に於て集ひ来る者多く先日行はれしオリムピック選手決定最終豫選會の後とは言へ、晴れ渡つた絶好の競技日和に、めぐまれた当日は早や競技開始以前に八分通りの觀衆によりスタンドは埋められた。氣温二十三度、水温二十一度と言ふ良きコンディションの中に零時四十五分入場式、一時400米自由形により競技は始められ、各種目を通じ早大二十三點、慶大十六點の戦跡を収めた。以下各レースに就き其戦跡を簡単に述べて見様。

400米自由形

- 1 寺田 登(慶) 4:52.4
- 2 牧野 正藏(早) 3:53.0
- 3 永見 達明(早) 4:59.0

途中時間 4コース寺田登(慶)

- 100米 1:07.6
- 200米 2:22.4
- 300米 3:37.4

コースは河原田、永見、寺田、田中(一)、島本、牧野の順でスタートし、寺田最初より好調子に出で牧野、永見を善くリードする事約半米、200米を過ぎる頃より牧野出で寺田と並行す、わずかに遅れて田中、永見之に續く。牧野善く寺田に肉薄したが亦々300を過ぎる頃より離され、寺田に後る事半米にて2着、田中後れて永見3着、寺田は益々其ストロークに其健實さを見せ何んと言つても我國、長、中、距離界の重鎮振りを發揮し、亦牧野も可成りに元氣回復し其記録に於ても最終豫選の400米決勝に於ける1

着立教の鶴藤俊平4分54秒4をものいで、永見は打續くレースに若干の疲勞の色が見えた。

100米背泳

- 1 兒島 泰彦(慶) 1:09.6 (大會新記録)
- 2 吉田 喜一(早) 1:12.0 (大會新記録)
- 3 谷口 辰三(早) 1:14.2

コース順は谷口、井上、河野、兒島、吉田でスタートより兒島トップに出で井上之に續き谷口、吉田、河野の順、荒けづりの泳ぎと急ピッチを持つた兒島は50米に於て38.2、井上能く之に續きしも折返へしより吉田出で、井上を抜き兒島に續いて2着、續いて谷口3着となる。

背泳に於ては在來の早慶戦を一新せる觀有り、好漢兒島の出現と併せ吉田のデュエットは、我國背泳陣を擔ふべく此兩者の將來は期待され様。

100米自由形

- 1 片岡寅次郎(早) 1:00.4
- 2 杉浦 重雄(早) 1:00.6
- 3 宮崎 康二(慶) 1:00.6

小森、片岡、宮崎、五十嵐、松岡、杉浦のコースで、スタートすると殆んど一線に進み、片岡わずかにリードし50米ターンにて片岡27.8、宮崎之に續き28秒2、杉浦28秒4の順、70米より杉浦スパート宮崎と並行、1着片岡にタチツの差で杉浦、宮崎殆んど同時にゴール。

200米平泳

- 1 小池 禮三(慶) 2:43.8
- 2 長久 俊三(慶) 2:50.8
- 3 高島 秋介(慶) 2:52.8

コース順は伊藤廣三、高島、大本、小池、山田、長久で、小池の一人舞臺で有ると共に慶應軍の一方レースとなる。100米にて小池に後る事約6米半、長久、高島の順之に後れて、早太軍三者や、一線に有り途中變化も無く此まゝゴール。

200米自由形

- 1 杉浦 重雄(早) 2:15.6
- 2 片岡寅次郎(早) 2:16.8
- 3 新聞 六炳(早) 2:18.0

此レースは慶應軍の敗因の一つで有ると共に、早大側の一方レースで有つた。

前川、新聞、小森、杉浦、松岡、片岡のコース順でスタートするや、早大軍三者一線に出で50米にて杉浦、片岡共に30秒0、新聞30秒2にて折返し100米にて新聞トップとなる。其途中時間1分4秒0續いて杉浦1分4秒6に之に稍々をくれて、片岡ターン、120米過ぎる頃より杉浦、片岡スパートし、150米にて杉浦トップとなり1分4秒8にてターン、續く片岡1分41秒4新聞、殆んど之と同時にターン、(1分41秒6)杉浦ラストに凄味を見せゴールイン。片岡、新聞之に續き早大軍の全勝に歸す。

1500米自由形

- 1 寺田 登 (慶) 19:45.8
- 2 永見 達明 (早) 20:03.4
- 3 田中 英作 (早) 20:16.6

コースは永見、寺田と並び田中(英)、河原田、平谷、島本の順。寺田初めよりトップを切り、永見半米後れて400を過ぎる頃迄よく之に肉薄し進む、亦三位を争ふ田中(英)と島本一線にせり合ふも、500を過ぎる頃より島本や、遅れ出し、田中の三位を確實ならしめた。同時に1着寺田と永見の距離も此頃より漸次に其ひらきを見せ、寺田は益々健實な泳ぎを見せ乍ら1着、下記の記録にも見らるゝ如く寺田の1500に於ける後半の目立つて強きも之練習の賜であらふ。

昨年の早慶戦の1500米に於ける寺田と本年度の比較

	(昨年度)	(本年度)
100米	1:10.4	1:11.8
200米	2:27.8	2:29.4
300米	3:47.2	3:47.8
400米	5:08.2	5:07.4
500米	6:29.0	6:27.4
600米	7:51.6	7:46.6
700米	9:14.4	9:07.2
800米	10:38.2	10:26.2
900米	12:02.6	11:45.6
1000米	13:26.0	13:05.8
1100米	14:50.2	14:26.2
1200米	16:13.8	15:46.6
1300米	17:37.2	17:07.4
1400米	19:00.4	18:27.4
1500米	20:20.8	19:45.8

800米リレー

早大軍は一番に杉浦、二番新聞、三番田中、四番牧野の堅陣に配する。慶大軍は一番島本、二番前川、三番宮崎、四番寺田のメンバーにて四コース慶大、

六コース早大で兩軍スタートするや、始めより早大のリードする所となり、約20米餘の大差を以て早大の優勝する所となつた。 時間 9:14.6

- 1番 杉浦 2:15.8
- 2番 新聞 2:17.0
- 3番 田中 2:22.6
- 4番 牧野 2:19.2

● 飛 込 競 技 ●

飛板飛込

順位	姓 名	所 屬	總得點
1.	小柳 富男	早大	123.44
2.	片岡 弘吉	慶大	117.06
3.	瓶子 喜巳	早大	105.40
4.	杉原 雪夫	慶大	101.90
5.	加茂 正美	早大	93.76
6.	北田 舜次	慶大	88.84

高飛込

順位	姓 名	所 屬	總得點
1.	伊藤 眞吉	慶大	83.34
2.	杉原 雪夫	慶大	73.22
3.	小柳 富男	早大	71.22
4.	小林 光四郎	早大	67.03
5.	山田 謙二郎	早大	66.80
6.	鴨志田 浩通	慶大	57.50
得 點		早大	22
		慶大	22

早慶兩校より三名宛の競技者を出したのは本競技會始まつて以來最初の事で、又高飛込を規定の種目に依て行つたのも初めての事であり、此の事實は明かに日本の飛込界の進歩普及を物語るもので喜ばしい。競技の内容に於てもオリンピック選手小柳を始め、既に十年の戦歴を有し現役中では最も古い競技者の一人である杉原の活躍があり、更に中堅ダイバー伊藤、片岡の健闘があつて、立派な演技も多々見受けられた。小柳の輕快さ、伊藤の纖麗さ、杉原の雄大さ、片岡の健實さは既に定評のある所であるが、加茂の素直な伸びの良さ、之に次いで瓶子の感の良さは新人中での出色で、共に次の時代を背負つて立つべき人々であるから今後一層の精進を祈つて止まない。

全般的に見て確かに進歩は認められるが未だ數々の失敗もあり、競泳に比して稍低調であつたのは否めない。兩校競技者の努力に敬意を表すると共に今後の活躍を期待する次第である。

(安 東 新 午)

獨逸人の見た我水球チームの戦評

對チエツコスロバキヤ (前半3—0) (後半4—3)

此の試合は興味薄き経過に終つた。

日本チームはまだ一般に水球に對する經驗淺く、純競泳選手的 (rein schwimmerisch) には勿論他のどのチームよりも勝れてゐるが「シュート」が出来ない様ではその泳ぎは何の役にも立つまい。

前半に3點リードしたチエツコチームは後半ひどくだれ氣味で、日本に3點を讓つた。

★ フ ラ ン ス (前半5—0) (後半3—0)

前日の試合 (ドイツ對フランス、チエツコ對日本) で敗れた同志の試合で、第二回戦に残るべく兩軍共緊張を見せてゐたが、就中フランス軍は昨日の敗戦を此一戦にと全力を注いだ。

審判デラヘー、兩軍に「用意」を合圖する。

[メンバー]

フランス (白)

デルポルト、ランベル、ルフェーブル、パドウ、ブッシュ、ジョデル、ヴァンドカステール、

日 本 (青)

古莊、勝久、若山、阪上、和田、高橋(成)、片岡、

佛軍主將パドウ味方の軍を激勵す、試合開始。日本チームは此處でも純競泳選手的には勝れてゐた。審判デラヘー、終始嚴格に笛を吹き、爲に阪上退水となる。

★ヴァンドカステール巧みに相手を引離し、ジョデルの「パス」を受け、「バツクシュート」決り1—0

★パドウ相手のボールを素捷くひつたくる。佛の「フオワード」攻撃!! ブッシュ「シュート」「キーパー」古莊「ゴール」の半分位にししか見えぬ。2—0

此日のフランスチームは特に巧妙に試合した。

ヴァンドカステールの二回に亘る敏捷な攻撃は成功し、

★試合は3—0となる。

日本軍は開始再開の時には必ずボールを取るが、「パス」常に不充分。

片岡は的外づれの「パス」をするし、高橋は短くてとゞかない。

★ルフェーブルの「ロングパス」、ブッシュ受け、「ドリブル」「ゴール」の網の破れんばかりにたゞき込む。4—0

★同じ要領でブッシュ5點目の得點

★ブッシュ・ヴァンドカステールの「リレー攻撃」を勝久「インターフェヤー」、佛の「フリースロー」。佛猛烈に攻立てる。ブッシュ再度「シュート」。「ゴールポスト」に當つて點成らず。

前半5—0

★後半開始後直ちに試合は6—0となる。

★ヴァンドカステール—ブッシュ—ジョデルのすごい聯絡

攻撃。ジョデル「ゴール」前で「ノーマーク」となり、悠々構へて「シュート!!」「オーバー・ゴール」

★フランス攻撃の手をゆるめず。ブッシュ素捷く相手を引離し「シュート」7—0

★次に日本の攻撃に移り、佛の「ゴール」眞近に迫るも點成らず。片岡「ノーマーク」にもかゝはらず、グズグズしてデルポルトにボールをもぎ取られ、引離され、「逆チャンス」となり、ヴァンドカステールの「シュート」成功。8—0

★日本再度全力を挙げ攻撃するも、佛の防禦堅く破れず、佛の「逆チャンス」。佛「シュート」「バー」を越して點ならず。

對 ド イ ツ (前半5—1) (後半7—1)

日本軍は従來通りのメンバー。

獨軍は少し落してシュベンを「フオワード」シエルチエを「ハーフ」、シエルガーに替りクルーグが「バツク」、「ゴールキーパー」は第二キーパーのストルツエ。

午後の試合で時間が相當遅れ、この試合が始まる頃にはスタンドは再び相當の入りを見せた。

ベルギーのデラヘー審判、1時50分試合を開始す。

★獨軍猛烈な「シュート」攻撃。

シュナイダー「フリースロー」を受けすごい「シュート」2—0

★片岡の「シュート」、これは奇蹟だ!! 日本軍最初の1點!! 2—1

★然しシュベンの美技に依り再び3—1と點開く。

試合は混戦となる。

★シエルチエ元氣一杯で「ドリブル」、「ゴール」前で待ち構へてゐたシュナイダーに送球! 4—1

★次いでシュベン第五のゴールを奪はんとした時2米線内に入つてゐたので「ペナルファウル」となり退水。

日本軍は今度は今迄にない良好な試合振りを見せた。

★シエルツエ退水。片岡「シュート」ストルツエ好く止める。

★次いで「バツク」の中間に浮いてゐたシュナイダー「シュート」

前半6—1

★シュベン「アタック」されながらもよく2米線上より「シュート」「ゴールイン」6—1

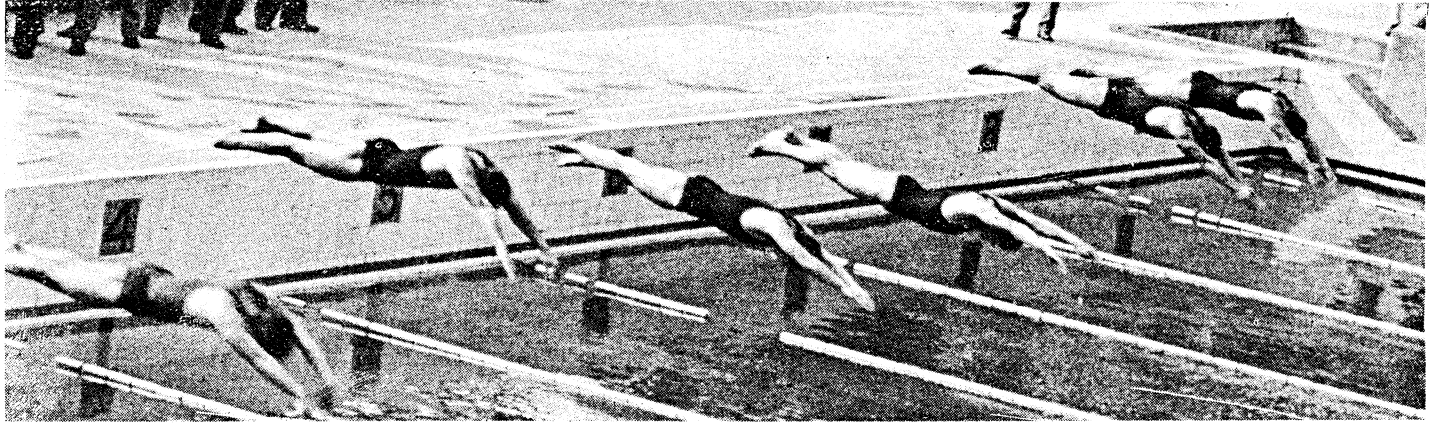
眞似上手の日本軍此の處眞似の連發。

★シュベンの「ロングシュート」決り、7—1

出足の際獨軍反則、日本の「フリースロー」成功せず。

試合が終りに近づく頃、太陽がキラキラ輝き「シュート」する競技者をなやました。

★シエルチエ、シュナイダーに巧い送球、シュナイダー強



最終豫選第一日
二百米豫選 田
口・佐々木・市
野・五十嵐・近佐
新井

く「アタック」されながらも「ゴール」成功。8-1

★ハウザー「キーパー」が止めんと手を上げる下からたゞき込み彼の最初の「ゴール」を得る。9-1

★シュベンの再度の爆弾の様なシュート!! ゴール後の梓に當りてハネ返る。10-1

日本の「ゴール」への十字砲火は猶やまない。

ハウザーの強シュート!! ボール「ネット」に喰りて落ちず

11-1のすごい開きとなる。然し1ダースではすみさうもない

★シュルチエ再び懸命に「ドリブル」、力まかせに投込み12点目の得点

13点を得んとドイツ軍猶もシュートする。シュベンを反則をくり返す。

日本軍は唯一の点でドイツ軍に勝つてゐた、それは純競泳選手的に於てである。

獨逸は大量得点で勝利を得た。

—デル、シュキムマー紙より—

・ 編輯 後 記 ・

せつばつまつた期日に、限られた紙数、それに春の主な大會から、文化史上に特記さるべきベルリン大會までのせよと言ふのだから、いきほひ骨ぐみばかりのものになつてしまつた。

これをオクリムピック選手が歸つて来るまでに作つて置くつもりであつたが、やはりまゝならぬもので、遅くなつた。オリンピックの寫眞は朝日から貸して戴いたものだが、複寫したため、やゝ見にくひかも知れない。尙最終豫選の時は多數、寫壇の權威の方に撮つて戴いたが紙面の都合で、残念ながらほんの一部しかのせられなかつた。(塚原)

塚原君の大努力で先にまどまつたので順序を追はないで御目に懸けることにした。オリンピック大會の記録は主としてドイツ水泳聯盟機關紙デルシュキムマーに據つて調べたものであるが最も信據すべきものは聯盟から出版する報告書に掲載するから是非之を御覽願ひたい。(飯田)

日本水上競技
聯盟機關雜誌

水 泳

第 41 號

昭和十一年十一月一日納本
昭和十一年十一月一日發行

(日本水上競技聯盟代表)

編輯兼發行人 飯 田 光 太 郎

印刷者 君 島 潔

印刷所 共同印刷株式會社
東京市小石川區久堅町108

定價30錢 年8回發行豫定・8回分¥2.40

豫約申込者に限り頒布す(送料4錢1年前全
豫約は送料不要)

廣 告 料 10圓乃至35圓 御申込次第詳細回答

發行並 東京市麴町區丸ビル581
申込所 日本水上競技聯盟編輯事務所
振替口座東京三九九一九番

讚へん哉

水上日本

メタル・トロフキ カップ

佐藤製作所

東京市本郷区根津八重垣町 65.

下谷 83 3262